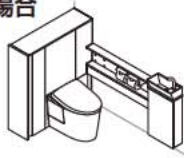
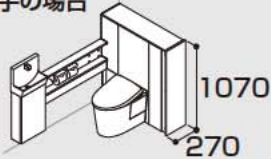
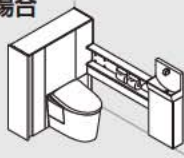


手順編

※商品タイプの確認 ▶ P.2

まるごと収納タイプ		スリム収納タイプ	
ベッセルタイプ(丸形/角形)	ハイバックタイプ	ベッセルタイプ(丸形/角形)	ハイバックタイプ
左勝手の場合  右勝手の場合 	左勝手の場合  右勝手の場合 	左勝手の場合  右勝手の場合 	左勝手の場合  右勝手の場合 

1. エンドパネル (オプション)	▶ 24
2. アングル	▶ 25
3. 側板組品 (手洗器設置側)	▶ 26
4. 止水栓	▶ 28
5. 排水ソケット	▶ 35
6. 大便器	▶ 43
7. コアキャビネット	▶ 45
8. セットタンク	▶ 48
9. ウォシュレット	▶ 52
10. 棚板	▶ 56
11. 扉	▶ 58
12. 固定扉	▶ 60
13. 手洗器キャビネット・カウンター・幕板	▶ 62
14. 手洗器・水栓金具	▶ 77
15. 給排水部材 (手洗器)	▶ 84
16. 試運転・確認	▶ 91
17. 天板	▶ 99
18. 仕上げ	▶ 103

マーク説明 (例)



寒冷地仕様の場合を示します。



下穴
下穴をあけてください。
(例:φ3の場合)



手締めで
電動ドライバー使用禁止です。
手締めしてください。



シール
シールテープを巻いて
ください。



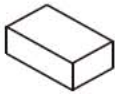
脱脂
脱脂用アルコールで
脱脂してください。



外周塗布
塩ビ用接着剤を塗布して
ください。
(例:塗布の場合)

13. 手洗器キャビネット・カウンター・幕板

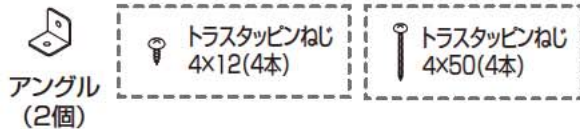
使用部材



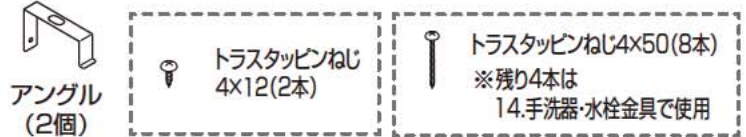
詰め合わせ箱 (手洗器キャビネット用)

付属材セット (手洗器)

【ベッセルタイプ(丸形/角形)】



【ハイバックタイプ】

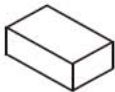


紙巻器

【樹脂製】※ねじセットの番号は各袋に記載の番号です。



紙巻器固定材



その他包装

カウンター

上段カウンター

【ベッセルタイプ(丸形)/角形】
【ハイバックタイプ】

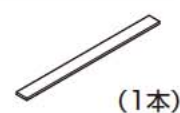


※図はベッセルタイプ(角形)

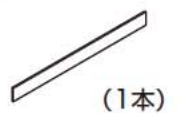
ブラケットセット



下段カウンター

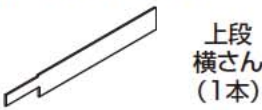


幕板

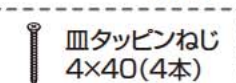


横さん

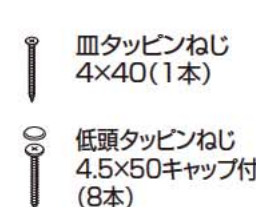
【ベッセルタイプ】
【ハイバックタイプ】



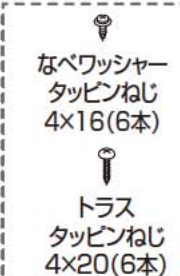
※図はベッセルタイプ



ねじセット



ブラケットセット



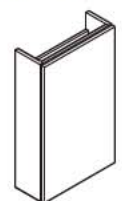
付属材セット



キャップセット

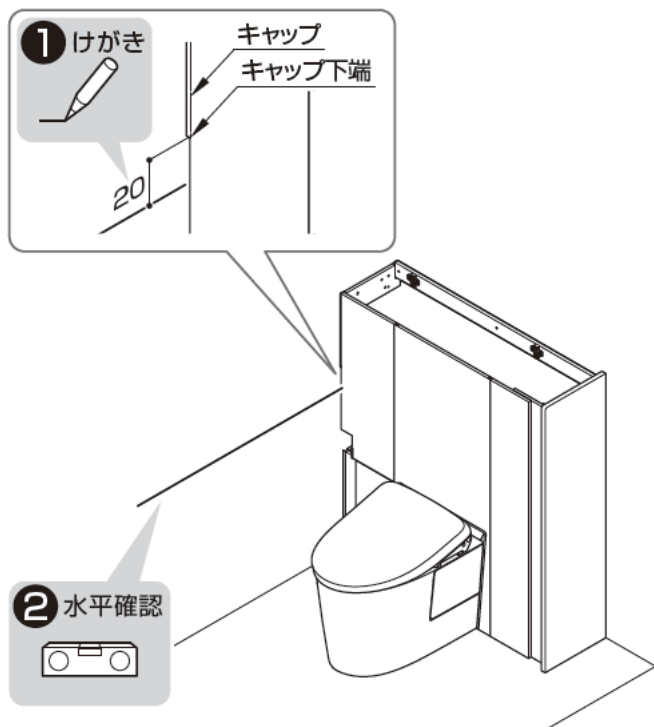


手洗器キャビネット



(1台)

1 上段横さんのけがき



2 けがき

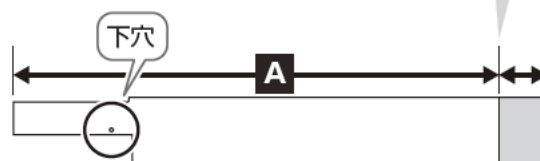


まるごと収納タイプ

奥行寸法L	規定寸法	けがき寸法A
□	ベッセルタイプ (丸形/角形) 296	□
	ハイバックタイプ 298	

スリム収納タイプ

奥行寸法L	規定寸法	けがき寸法A
□	ベッセルタイプ (丸形/角形) 216	□
	ハイバックタイプ 218	



3 カット

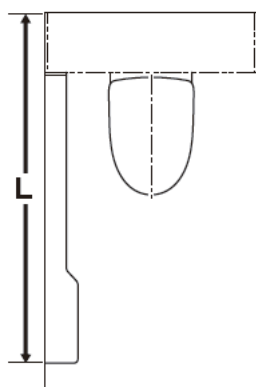


- ・意匠面(下穴があいている面)からカットすること
- ・上段横さんのカットは板に対して必ず垂直になるようにすること

割れ防止/すき間発生防止

2 上段横さんのカット

1 L寸法をレイアウト図より確認する



4 意匠面にキャップ(上段横さん)の凸側を突き当てる

【上面図】



6 手締めで



なべワッシャー
タッピンねじ
3×6(2本)

5 下端をあわせる

3 上段横さんの取り付け

壁裏補強ありの場合

1 貫通穴

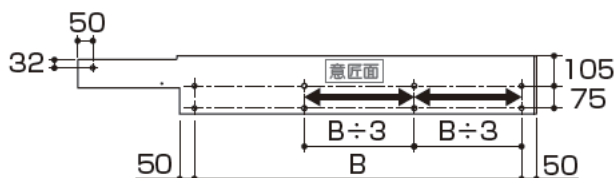


意匠面からあける

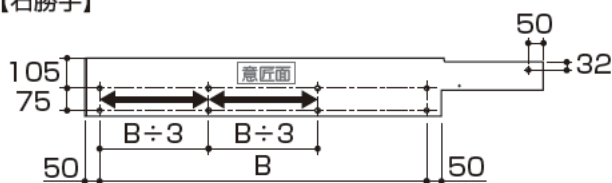
φ5
(9カ所)

施工不良防止

【左勝手】



【右勝手】



2 けがき → 下穴



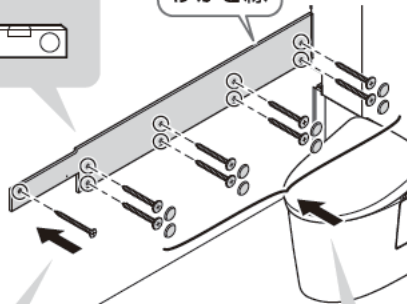
φ3
(9カ所)



3 水平確認



けがき線



5 皿タッピンねじ

4×40(1本)

4 低頭タッピンねじ

4.5×50キャップ付(8本)

壁裏補強なしの場合

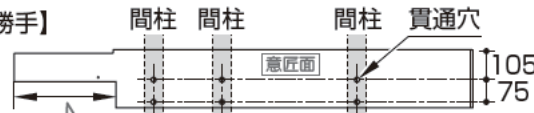
1-1 貫通穴



間柱にあわせて意匠面から貫通穴をあける
※右勝手の場合、左右反転した寸法となります。

施工不良防止

【左勝手】



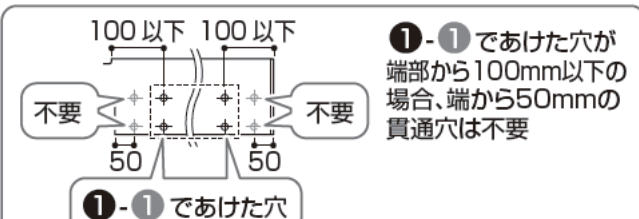
この箇所は間柱がある場合でも下穴はあけない

1-2 貫通穴



追加で意匠面から貫通穴をあける

施工不良防止



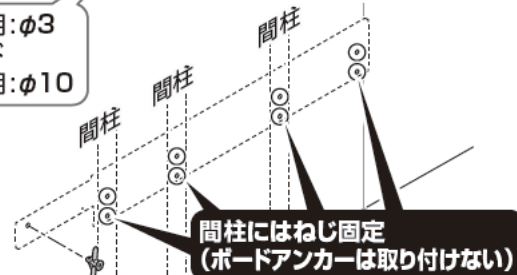
【左勝手】



2 けがき → 下穴 → ボードアンカー(オプション)



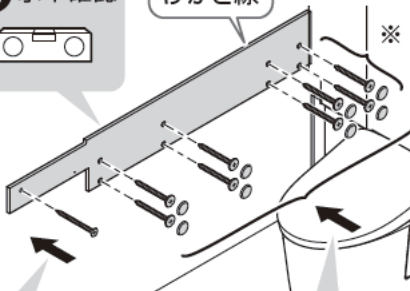
ねじ取付用: φ3
両端ボード
アンカー用: φ10



3 水平確認



けがき線



5 手締めで

皿タッピンねじ
4×40(1本)

4 低頭タッピンねじ

4.5×50キャップ付

※カウンターの長さ、間柱数によって、
使用するねじの数が異なります。
※ボードアンカー取付部は手締め

ベッセルタイプ(丸形/角形)の場合

▶P.65

ハイバックタイプの場合

▶P.67

ベッセルタイプ (丸形 / 角形)

4 手洗器キャビネットの取り付け

① 上端をあわせる

側板 上段横さん

② 太線の位置に押し当てる

③ 水平確認

⑤ トラストピンねじ
4×50(4本)

※ボードアンカー取付部は手締め

「付属材セット
(手洗器)」同梱

④

※[壁裏補強なしの場合]

設置壁に→ 下穴※

設置壁に→ 下穴 → ボードアンカー
(オプション)



5 カウンター類のカット

① 測定

② 測定

③ けがき

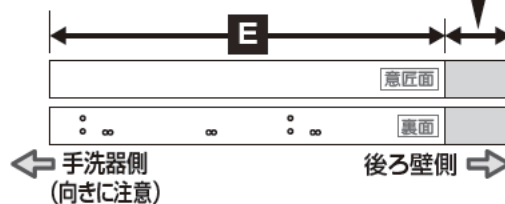
$$\text{奥行寸法C} - \frac{\text{規定寸法}}{4} = \text{けがき寸法E}$$

【下段カウンター】

④ カット

・意匠面からカットすること
・カット面は滑らかに仕上げること

割れ防止/けが防止

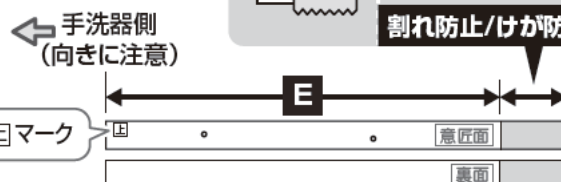


【下段横さん】

⑤ カット

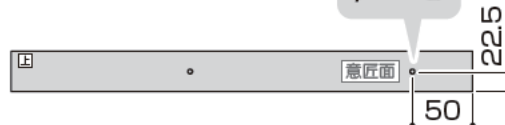
カット面は滑らかに
仕上げること

割れ防止/けが防止



E寸法が〜720mmの場合

下穴

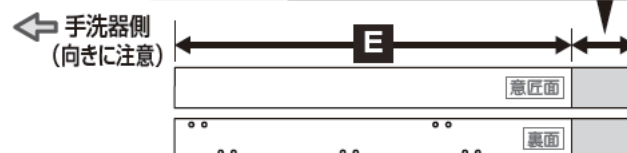


【幕板】

⑥ カット

・意匠面(下穴がない側)から
カットすること
・カット面は滑らかに仕上げること

割れ防止/けが防止



7 けがき

まるごと収納タイプ

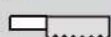
奥行寸法L	規定寸法	けがき寸法D
	274	

スリム収納タイプ

奥行寸法L	規定寸法	けがき寸法D
	194	

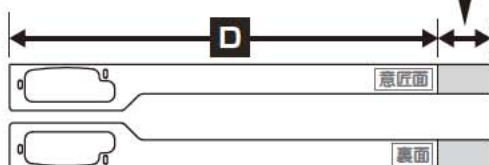
【上段カウンター】

8 カット



- ・意匠面からカットすること
- ・カット面は滑らかに仕上げること

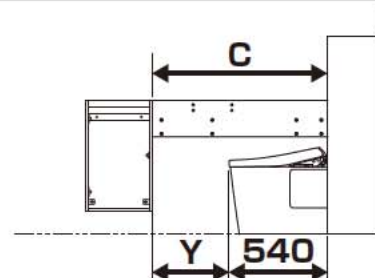
割れ防止/けが防止



← 手洗器側
(向きに注意)

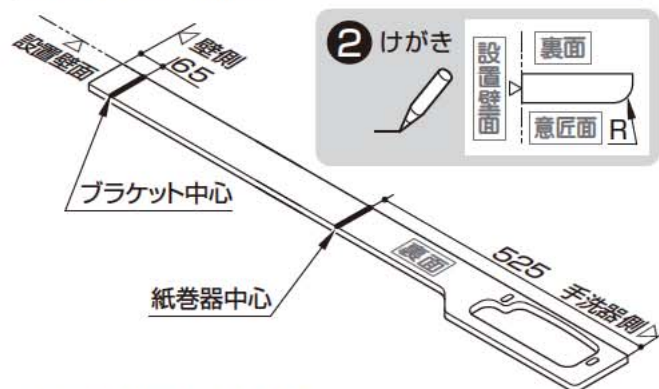
6 上段カウンター部材のけがき

1 測定



C寸法	規定寸法	Y寸法
	540	

Y寸法が～290mmの場合

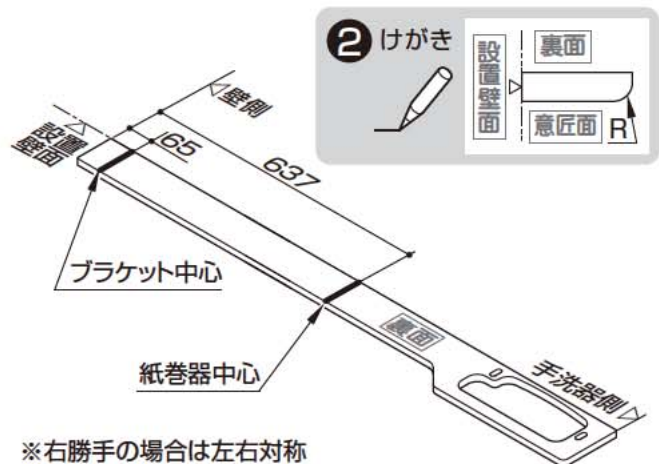


2 けがき



※右勝手の場合は左右対称

Y寸法が291mm～の場合



2 けがき



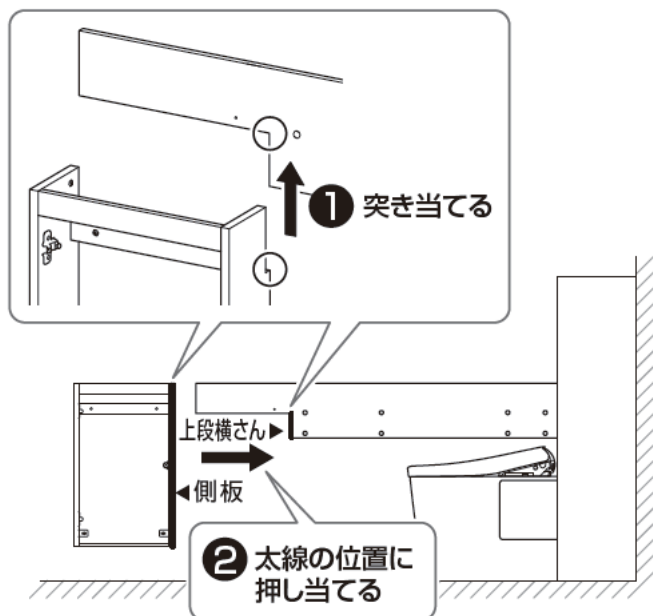
※右勝手の場合は左右対称

P.68 7 紙巻器・ブラケットの取り付けへ

MEMO

ハイバックタイプ

4 手洗器キャビネットの取り付け



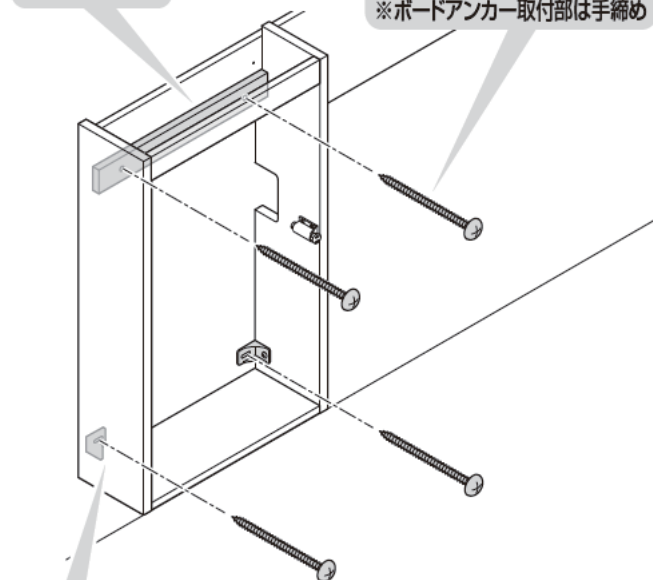
3 水平確認



5

トラスタッピンねじ
4×50 (4本)

「付属材セット(手洗器)」同梱
※ボードアンカー取付部は手締め



4

設置壁に → 下穴※
けがき



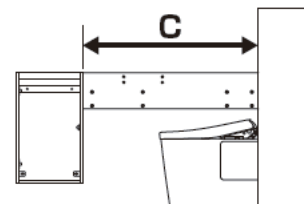
※【壁裏補強なしの場合】

設置壁に → 下穴 → ボードアンカー
けがき (オプション)



5 カウンター類のカット

1 測定



2 けがき



奥行寸法C	規定寸法	けがき寸法E
	4	

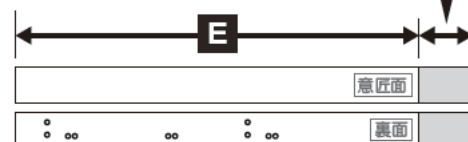
【下段カウンター】

3 カット



・意匠面からカットすること
・カット面は滑らかに仕上げること

割れ防止/けが防止



← 手洗器側
(向きに注意)

→ 後ろ壁側

【下段横さん】

4 カット

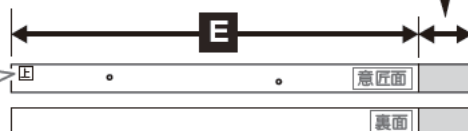


・カット面は滑らかに
仕上げること

割れ防止/けが防止

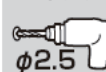
← 手洗器側
(向きに注意)

国マーク



E寸法が〜720mmの場合

下穴



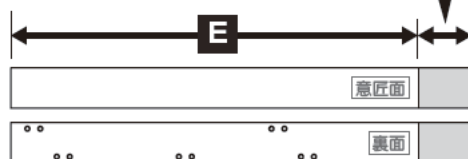
【幕板】

5 カット



・意匠面(下穴がない側)からカットすること
・カット面は滑らかに仕上げること

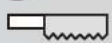
割れ防止/けが防止



← 手洗器側
(向きに注意)

【上段カウンター】

⑥ カット

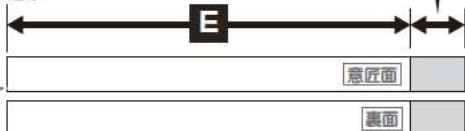


- ・意匠面からカットすること
- ・カット面は滑らかに仕上げること

割れ防止/けが防止

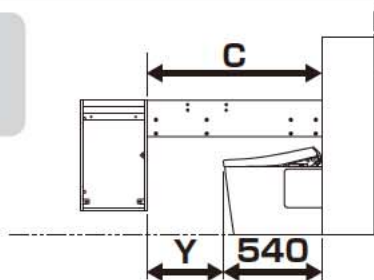
← 手洗器側
(向きに注意)

Rがついて
いる方が前



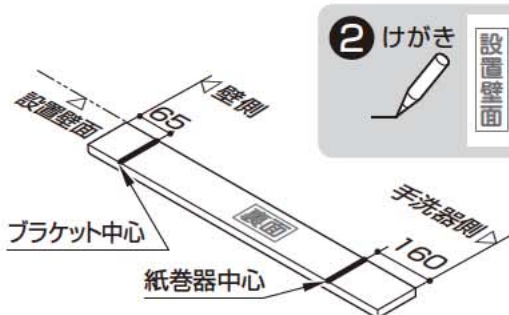
6 上段カウンター部材のけがき

① 測定



C寸法	-	規定寸法 540	=	Y寸法

Y寸法が～350mmの場合

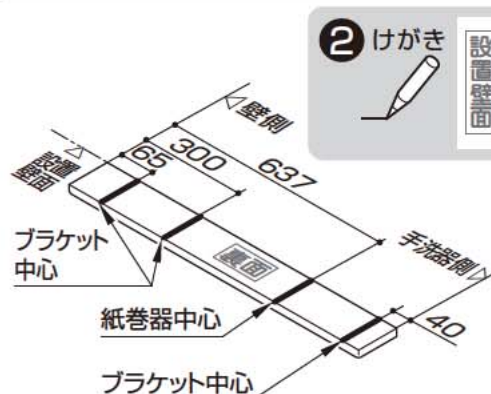


② けがき



※右勝手の場合は左右対称

Y寸法が351mm～の場合



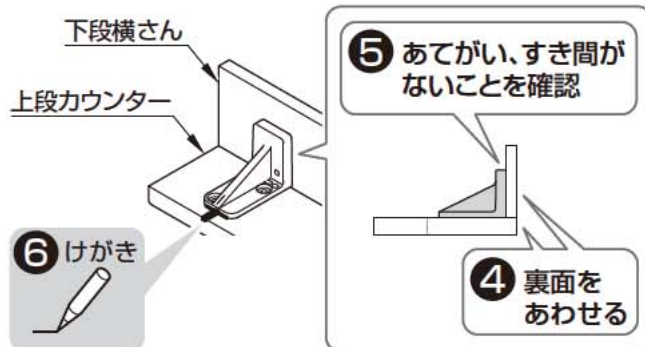
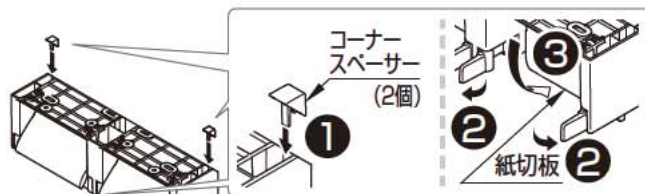
② けがき



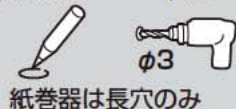
※右勝手の場合は左右対称

7 紙巻器・ブラケットの取り付け

樹脂製紙巻器の場合



11 けがき → 下穴



紙巻器は長穴のみ

ブラケット、紙巻器の
ねじ位置をけがき、
下穴を深さ5mmであける
※貫通させないこと

9 Y寸法が~349mm の場合

上段カウンターと
紙巻器の端を
あわせる

紙巻器

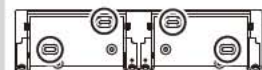
7 Rが付いている 方を前にする

8 ブラケットの中央ライン と取付位置をあわせる

紙巻器中心

10 ハイバックタイプ Y寸法が351mm~の場合 のみ取り付ける

14 ねじセット④ トラスタッピンねじ 4×14(4本)



【固定穴位置】

15 紙切板を元に戻す

紙切板

手洗器側

12 手締めで



なべワッシャータッピンねじ
4×16(3本/※6本)

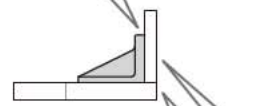
※ 13 ハイバックタイプ Y寸法が 351mm~の場合 のみ取り付ける

メタル製紙巻器の場合

※紙巻器の取り付けは、「18. 仕上げ」にて行います。
P.104 参照

下段横さん
上段カウンター

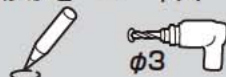
2 あてがい、すき間が ないことを確認



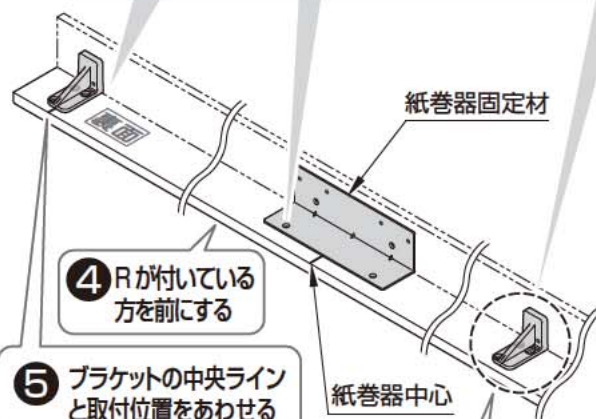
1 裏面を あわせる

3 けがき

7 けがき → 下穴



ブラケット、紙巻器の
ねじ位置をけがき、
下穴を深さ5mmであける
※貫通させないこと



紙巻器固定材

4 Rが付いている 方を前にする

5 ブラケットの中央ライン と取付位置をあわせる

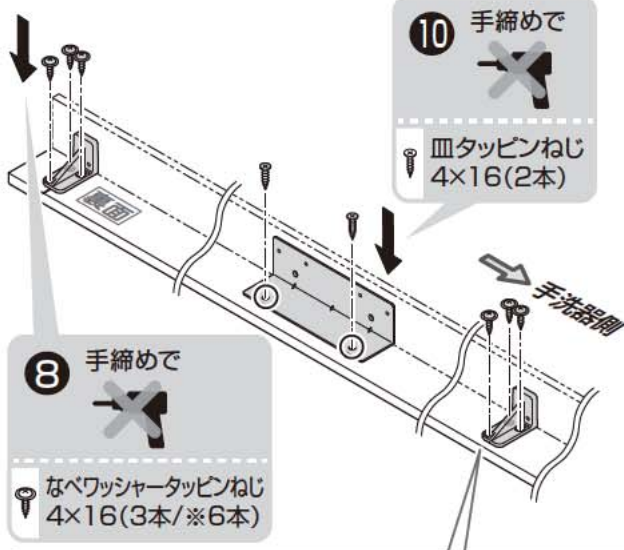
紙巻器中心

6 ハイバックタイプ Y寸法が351mm~の場合 のみ取り付ける

10 手締めで



皿タッピンねじ
4×16(2本)



8 手締めで



なべワッシャータッピンねじ
4×16(3本/※6本)

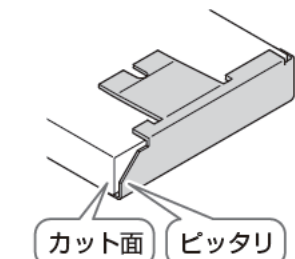
※ 9 ハイバックタイプ Y寸法が351mm~の場合 のみ取り付ける

ベッセルタイプ(丸形/角形)の場合	▶P.70
ハイバックタイプの場合	▶P.71

ベッセルタイプ(丸形/角形)

8 上段カウンターの取り付け

① 上部に切り欠きがないものを取り付ける



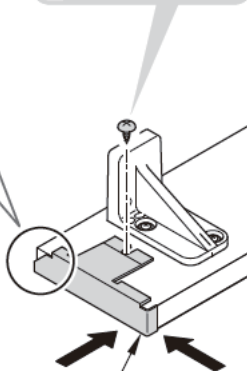
けが防止

② 手締めで



仮固定

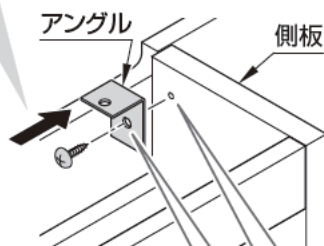
トラスタッピンねじ 4×10(1本)



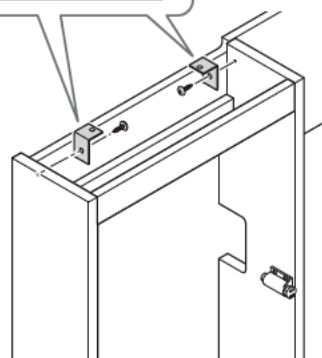
キャップ(上段カウンター)

④ 手締めで 「付属材セット(手洗器)」同梱

トラスタッピンねじ 4×12(各1本)

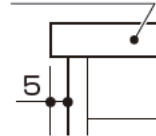


③ アングルの長辺の丸穴を側板の下穴にあわせる

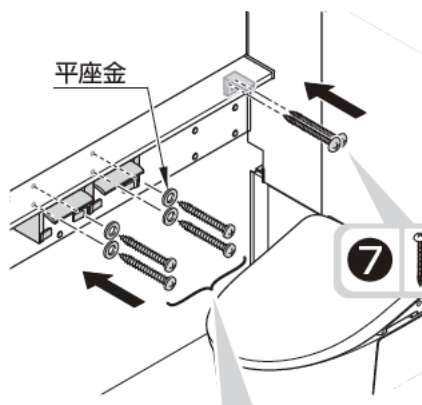


⑤ 上段横さんへ載せる

上段カウンター



⑥ ねじ穴のけがき → 下穴



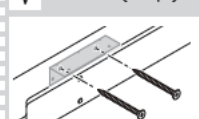
⑦ トラスタッピンねじ 4×30(2本)

【樹脂製紙巻器の場合】 【メタル製紙巻器の場合】

「ねじセット①」同梱

⑧ なべタッピンねじ 4.5×40(4本)

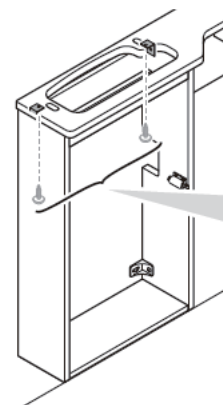
皿タッピンねじ 4×40(2本)



⑨ 手締めで



「付属材セット(手洗器)」同梱



⑩ 固定扉に当てる

⑪ 手締めで



本固定

P.72 ⑨ 下段カウンター部材の取り付けへ

ハイバックタイプ

8 上段カウンターの取り付け

① 上部に切り欠きがないもの
を取り付ける

切り欠きなし

切り欠きあり

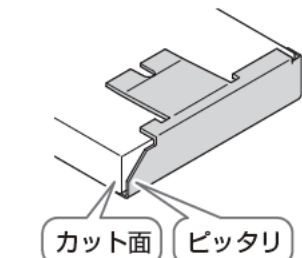


② 手締めで



仮固定

トラスタッピンねじ
4×10(1本)



カット面

ピッタリ

けが防止

キャップ(上段カウンター)

④ 手締めで



「付属材セット(手洗器)」同梱

トラスタッピンねじ
4×12(各1本)

設置壁

アングル

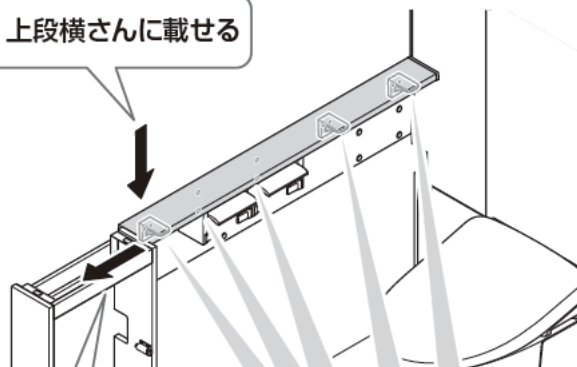
上段横さん

アングル

上段横さん

③ アングルの長辺
の丸穴を側板の
下穴にあわせる

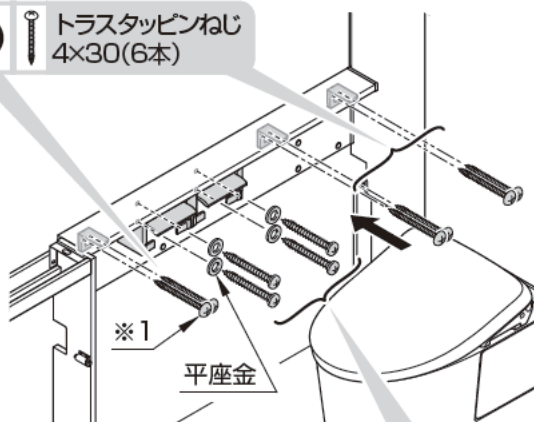
⑤ 上段横さんに載せる



⑥ 手洗器キャビ
ネットに押し当て

⑦ ねじ穴のけがき → 下穴
φ3

⑧ トラスタッピンねじ
4×30(6本)

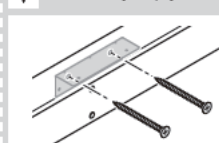


【樹脂製紙巻器の場合】「ねじセット①」同梱

⑨

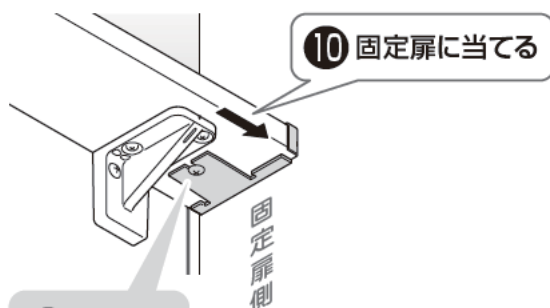
なべタッピンねじ
4.5×40(4本)

皿タッピンねじ
4×40(2本)



※1 Y寸法が~350mmの場合は手洗器側のブラケットなし

⑩ 固定扉に当てる



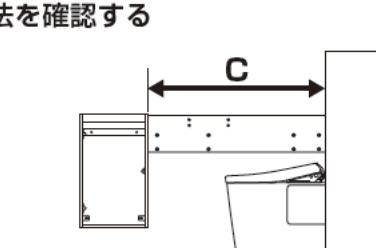
⑪ 手締めで



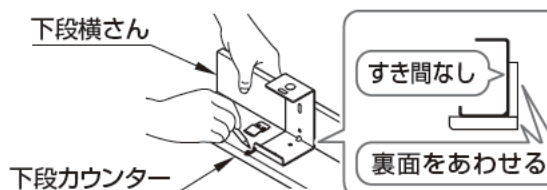
本固定

9 下段カウンター部材の取り付け

① C寸法を確認する



② ブラケットの裏面に下段横さんをあてがう



③ 手締めで



【ブラケット用】
なべワッシャータッピンねじ
4×16(4本)

下穴あり

④ 手締めで

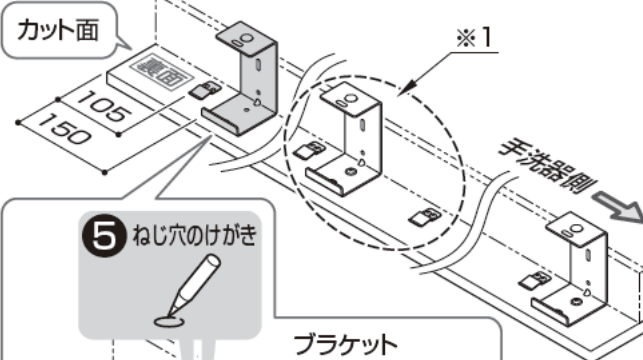


【取付材用】
トラスタッピンねじ
4×10(6本)

※1 C寸法が 765mm ~ の場合のみ

C寸法が~764mmまたは921mm~の場合

※1 C寸法が765mm~の場合のみ

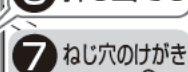


⑤ ねじ穴のけがき



ブラケット

⑥ 押し当てる



⑦ ねじ穴のけがき

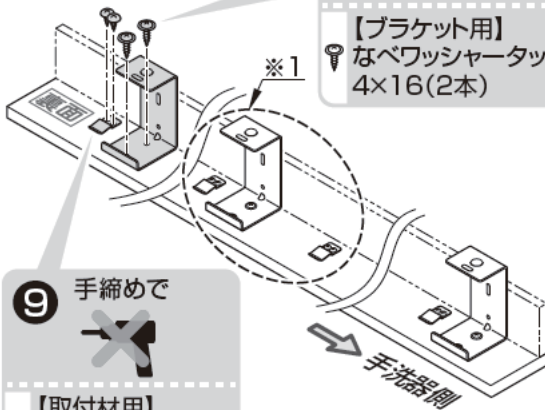


取付材

⑧ 手締めで



【ブラケット用】
なべワッシャータッピンねじ
4×16(2本)



⑨ 手締めで

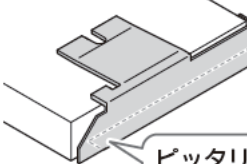


【取付材用】
トラスタッピンねじ
4×10(2本)

⑩ 上部に切り欠きがあるものを取り付ける

切り欠きあり

切り欠きなし



けが防止

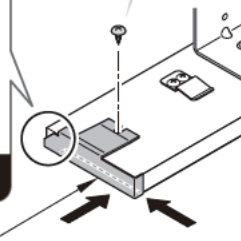
キャップ(下段カウンター)

⑪ 手締めで



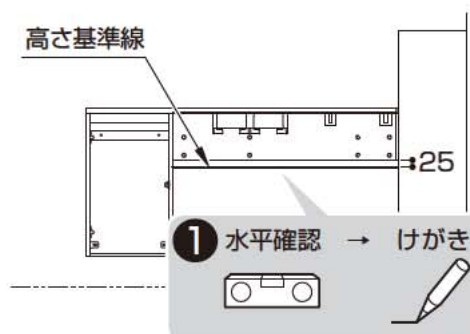
仮固定

トラスタッピンねじ
4×10(1本)



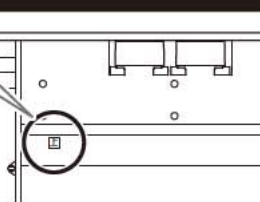
10 下段横さんの取り付け

※図はベッセルタイプ(丸形/角形)の場合

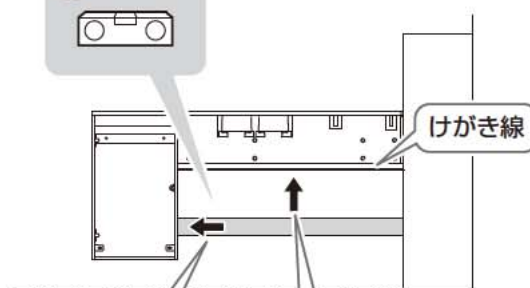


向きに注意すること

国マークを手洗器側に



4 水平確認



3 キャビネット側板に当てる

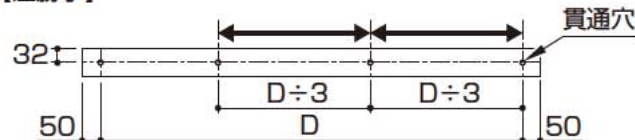
※ハイバックタイプの場合、キャビネット外側の側面と下段横さんの端面をあわせる

2 下段横さんの上端をけがき線にあわせる

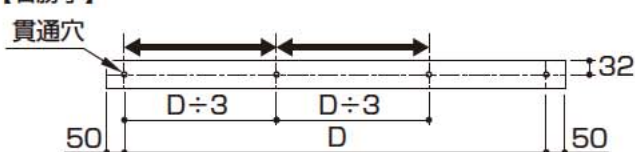
壁裏補強ありの場合

5 貫通穴 (壁にあけない) φ5 (4カ所)

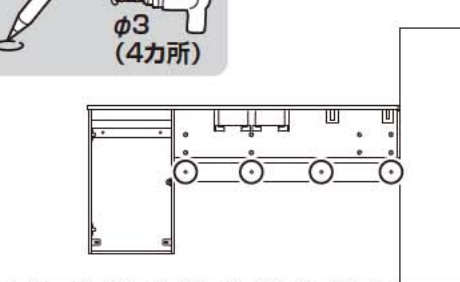
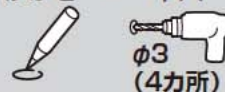
【左勝手】



【右勝手】



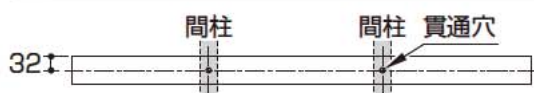
6 けがき → 下穴



壁裏補強なし

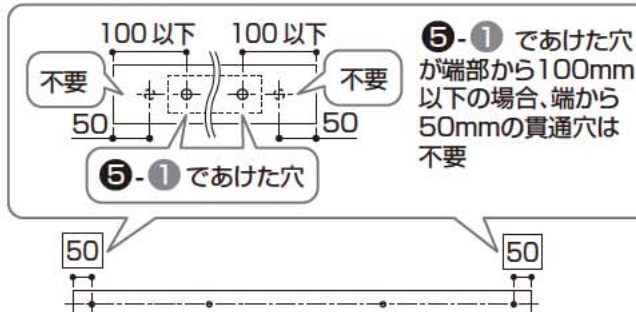
5-1

貫通穴
(壁にあけない) 間柱にあわせる



5-2

貫通穴
(壁にあけない) 追加で貫通穴をあける

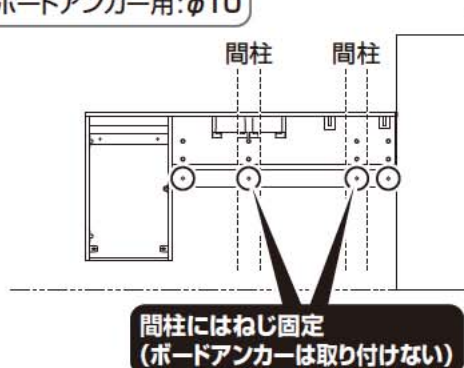


6

けがき → 下穴 → ボードアンカー(オプション)

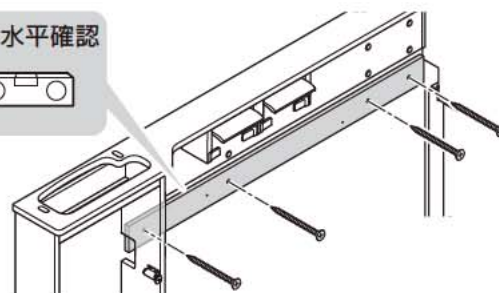


ねじ取付用: $\phi 3$
両端ボードアンカー用: $\phi 10$



各タイプ共通

7 水平確認



8

皿タッピン
ねじ
4×40

※ボードアンカー取付部
は手締め

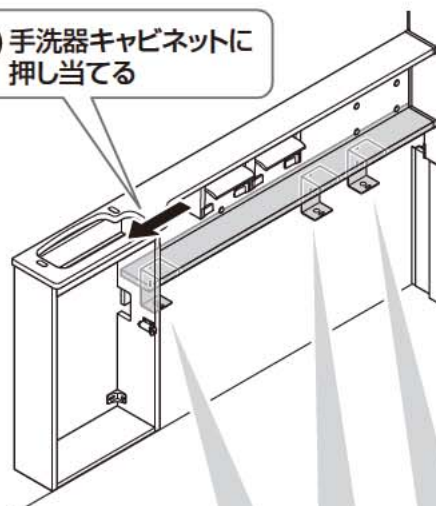
【壁裏補強ありの場合】
4本

【壁裏補強なしの場合】
カウンターの長さ、間柱数
により使用本数が異なる

11 下段カウンターの取り付け

※図はベッセルタイプ(丸形/角形)の場合

1 手洗器キャビネットに 押し当てる

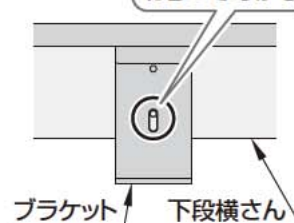


2 けがき → 下穴



下段横さんに載せて
下側の長穴にけがき、
下穴をあける

長穴の上側を
ねらってあける



ブラケット

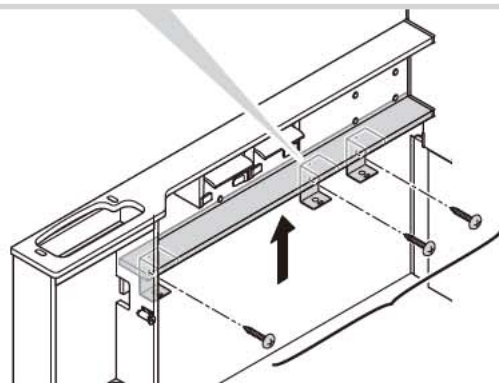
下段横さん

5 トラストッピンねじ
4×20(3本)

4 ブラケット
下側のねじ
を固定

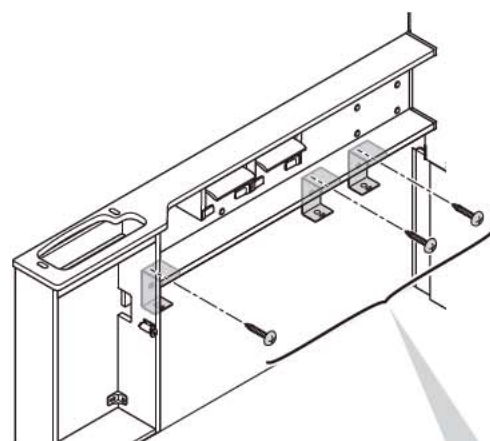
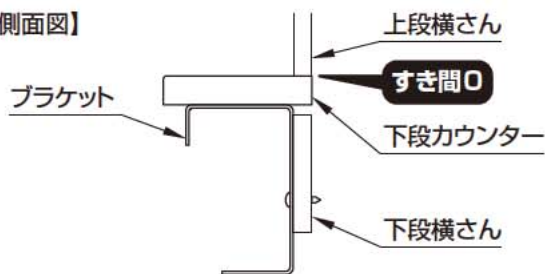
3 上段
横さんに
押し当てる

ブラケット



取付イメージ

【側面図】



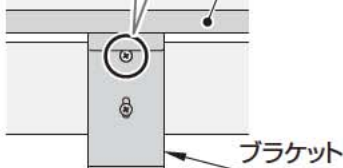
6 けがき → 下穴



ブラケット上側の
ねじを固定

上段横さん
下段カウンター

7 トラストッピン
ねじ
4×20(3本)

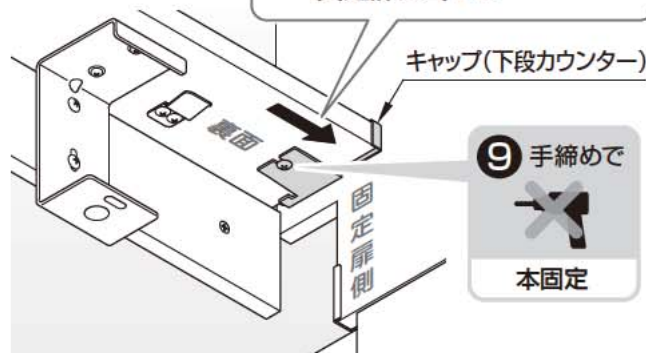


ブラケット

必ず実施してください

上段横さんと下段カウンターにすき間がある場合は **3** に
戻って長穴で調整する

8 キャップ(下段カウンター)を
固定扉に当てる



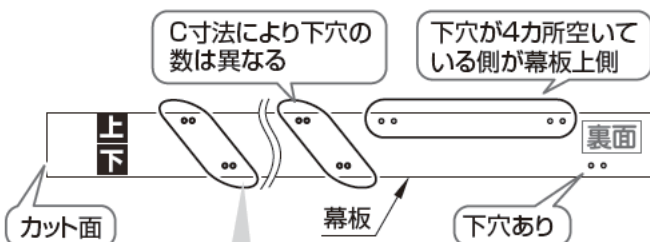
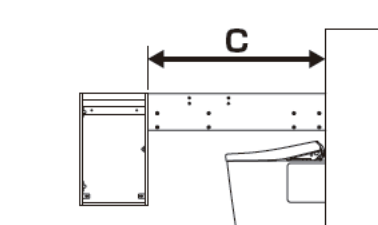
9 手締めで



12 幕板部材の取り付け

① C寸法を確認する

※C寸法が765mm～959mmの場合は③へ
※右勝手の場合、左右反転した形状となります。

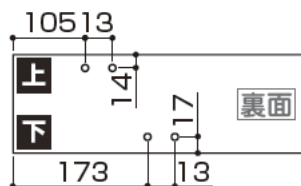


② けがき → 下穴



アングルの取付位置をけがき、
下穴を深さ5mmであける

水漏れ防止



③ 手締めで



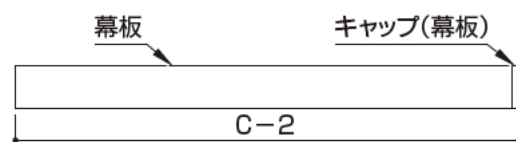
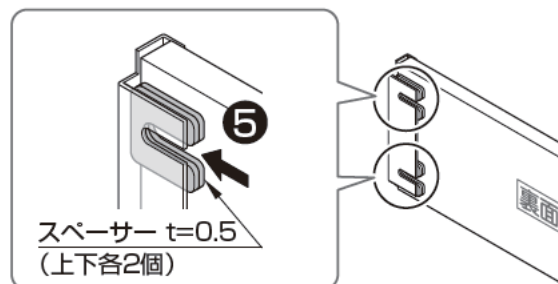
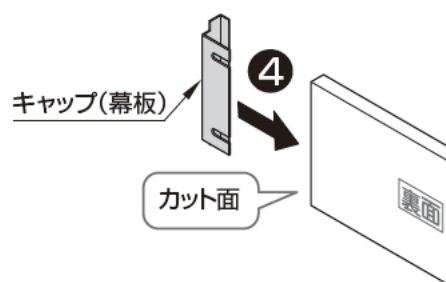
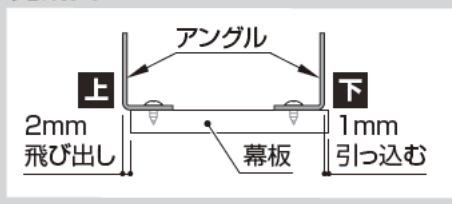
トラスタップピンねじ
4×10(14本)

C寸法が765mm～
959mmの場合は不要



※1 C寸法が765mm～の場合のみ

完成図



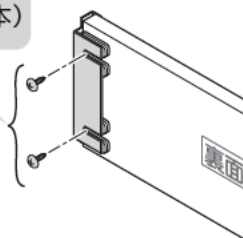
⑥ 測定

キャップの位置を調整する

⑦ 手締めで

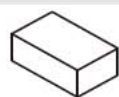


トラス
タップピンねじ
4×10(2本)



14. 手洗器・水栓金具

使用部材



詰め合わせ箱

施工説明書



型紙

※ベッセルタイプ(丸形/角形)の場合は使用しません。



詰め合わせ箱 (手洗器キャビネット用)

付属材セット (手洗器)

【ベッセルタイプ(丸形/角形)】

付属材セット(手洗器)



自動水栓

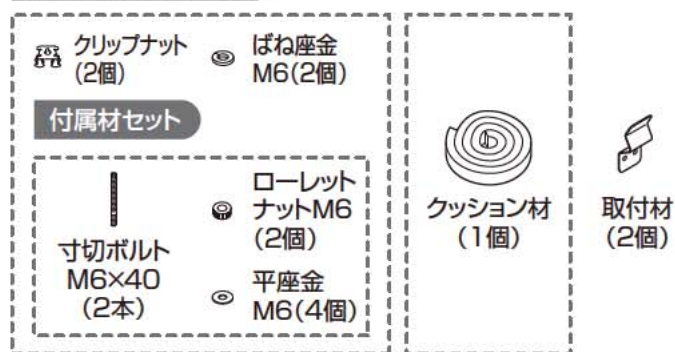


(1個)

※図はベッセルタイプ(角形)

【ハイバックタイプ】

付属材セット(手洗器)

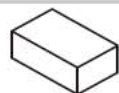


ハンドル式水栓



(1個)

※図はベッセルタイプ(角形)



その他包装

カウンター

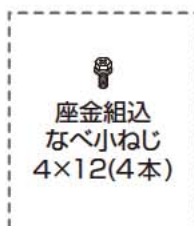
取付材セット(排水ソケット)

【ベッセルタイプ(丸形)】
【ベッセルタイプ(角形)】
【ハイバックタイプ】

※図はベッセルタイプ(角形)



取付材
(1個)



排水ソケットセット



排水ソケット
(1個)



バックシン(排水口)
(1個)

手洗器

【ベッセルタイプ(丸形)】
【ベッセルタイプ(角形)】
【ハイバックタイプ】

(1台)

※図はベッセルタイプ(角形)

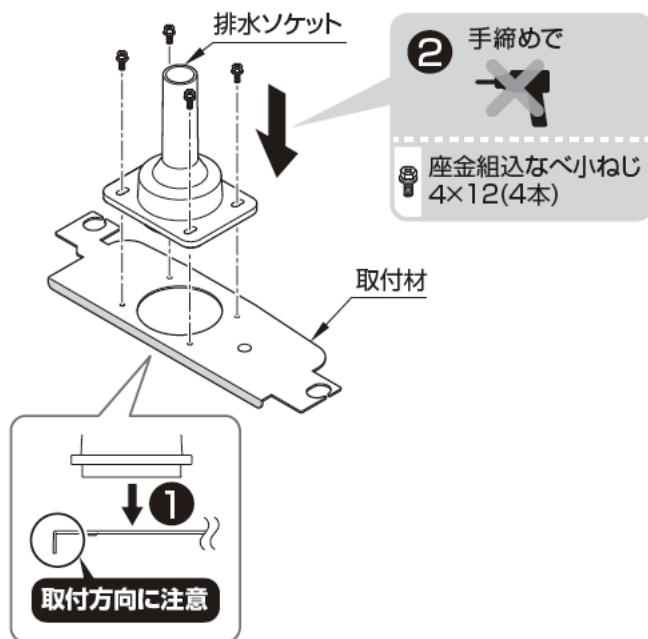
1 排水ソケットの組み付け

! 注意



必ず守る

取付後、排水ソケットと取付材の間にすき間がないことを確認する
水漏れして家財などをぬらす財産損害発生の原因になります。



2 クッション材のはり付け

- 1 はり付け面の汚れ・ホコリなど十分にふき取る
- 2 クッション材のセパレータをはがしながら、下記の位置にクッション材をはり付ける

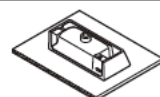
! 警告



必ず守る

クッション材のはり付けは確実に
水などが浸入してコンセントにかかり、火災
や感電の原因となります。

- ・手洗器上面を下側にする際は、ダンボールなどを敷く
手洗器に傷が付かないようにしてください。
- ・手洗器の内側コーナー部に
あわせてはり付ける
設置後にクッション材がはみ出す
ことがあります。



内側コーナー
部にあわせる

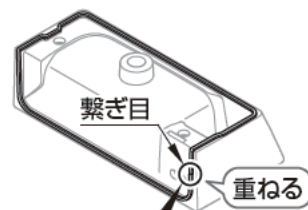
クッション材

ベッセルタイプ (丸形)



繋ぎ目は裏側(すき間をあけないこと)

ベッセルタイプ (角形)



繋ぎ目は裏側(すき間をあけないこと)

ハイバックタイプ

- 6 手洗器の取り付けで実施 (▶ P.82)

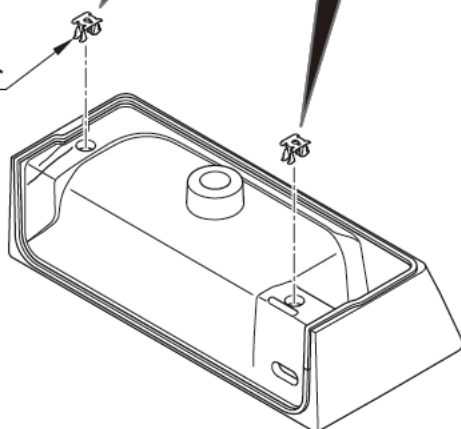
3 手洗器の組み立て

- ① 平らな面に手洗器とのすき間がなくなるまで、
しっかり押し込む



施工不良防止

クリップナット



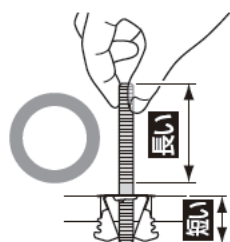
- ② 手締めで 【ベッセルタイプ(丸形/角形)の場合】



寸切ボルト
M6×65(2本)

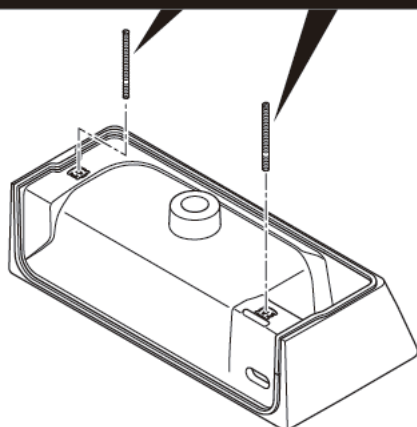
【ハイバックタイプの場合】

寸切ボルト
M6×40(2本)



軽く手でつまんで、入るまで締める
・寸切ボルトをドライバーで深く
締めない
・斜めに入ったねじを無理に真っす
ぐにしない

施工不良防止



4 パッキン(排水口)の取り付け

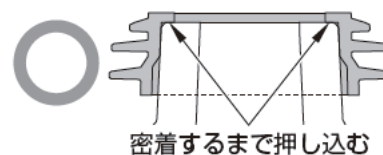
⚠ 注意



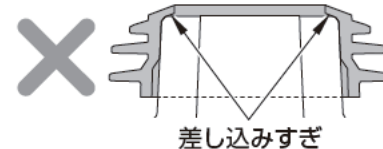
パッキン(排水口)にグリスを使用しない
劣化し水漏れして家財などをぬらす財産損害
発生の原因となります。



必ず守る



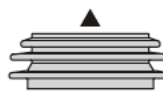
密着するまで押し込む



差し込みすぎ

- ① 手洗器排水口外周の
汚れを取り除き、
取り付ける

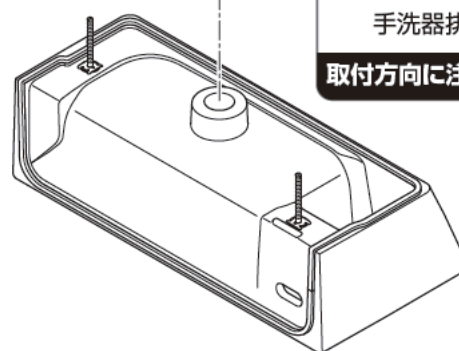
排水ソケット側



手洗器排水口装着側

取付方向に注意

パッキン(排水口)



ベッセルタイプ(丸形)の場合	▶P.80
ベッセルタイプ(角形)の場合	▶P.81
ハイバックタイプの場合	▶P.82

ベッセルタイプ(丸形)

5 手洗器の取り付け

① バックパネル(オプション)の取り付けは、手洗器固定前に行う

参照 バックパネルの施工説明書

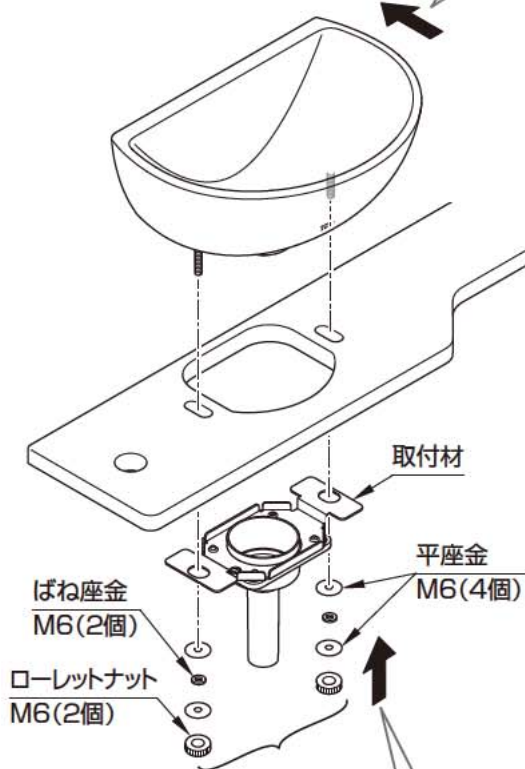
注意



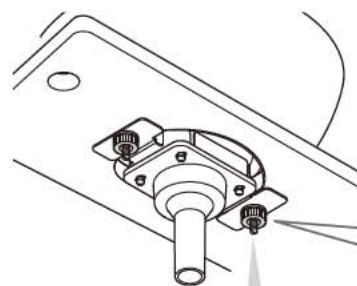
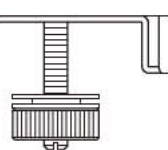
必ず守る

パッキン(排水口)がセットされていることを確認する
水漏れして建物や設備などをめらす財産損害
発生の原因となります。

② 壁に押し当てながら
取り付ける



③ 寸切ボルトの先端が見えるまで
ローレットナットを入れる



⑤ ローレットナットを
しっかり締め付ける

手洗器にがたつきがない
ことを確認

④ 手締めで



しっかり寸切ボルトを締め込む

※締め付時、手洗器との摩擦音が
なることがあります。

できるだけ真っすぐ入るよう、手を沿えて締め込む
※若干斜めになっても、ローレットナットの締め付けが
できれば問題ありません。

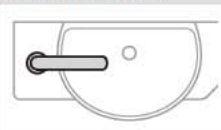
6 水栓金具の取り付け

自動水栓の場合

参照 自動水栓の施工説明書



吐水口の向き



ハンドル式水栓の場合

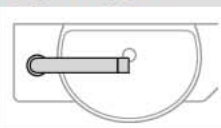
② 動かないことを確認



パッキン

忘れないこと

吐水口の向き



ナット締付工具を
使用すると作業が
しやすくなります



(別売品：TZY15N)

菊座金

ナット

パッキン

忘れないこと

フレキホース

① 部材を組み立てる

P.84 15.給排水部材(手洗器)へ

ベッセルタイプ(角形)

5 手洗器の取り付け

① バックパネル(オプション)の取り付けは、手洗器固定後に行う

参照 バックパネルの施工説明書

⚠ 注意



禁止

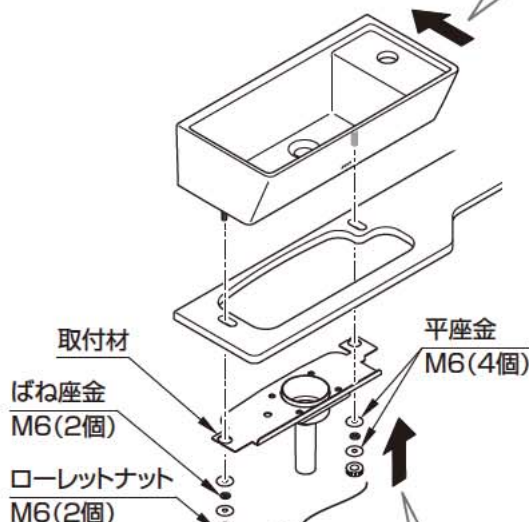
水栓部分を持たない
給水金具が破損して水漏れし、財産損害発生
の原因となります。



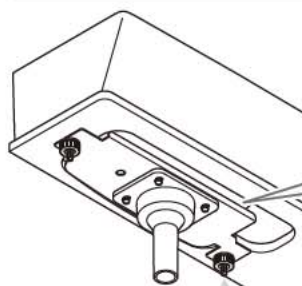
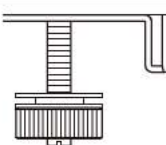
必ず守る

パッキン(排水口)がセットされていることを確認する
水漏れして建物や設備などをめらす財産損害
発生の原因となります。

② 壁に押し当てながら 取り付ける



③ 寸切ボルトの先端が見えるまで ローレットナットを入れる



⑤ ローレットナットを しっかり締め付ける

手洗器にがたつきがない
ことを確認

④ 手で締め



しっかり寸切ボルトを締め込む
※締め時、手洗器との摩擦音が
なることがあります。

できるだけ真っすぐ入るよう、手を沿えて締め込む
※若干斜めになっても、ローレットナットの締め付けが
できれば問題ありません。

6 水栓金具の取り付け

自動水栓の場合

参照 自動水栓の施工説明書



吐水口の向き



ハンドル式水栓の場合

② 動かないことを確認

水栓本体

パッキン

忘れないこと

吐水口の向き



ナット締付工具を
使用すると作業が
しやすくなります



(別売品: TZY15N)

菊座金

ナット

パッキン

忘れないこと

フレキホース

① 部材を組み立てる

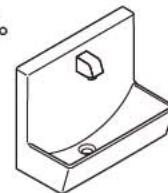
P.84 15.給排水部材(手洗器)へ

ハイバックタイプ

5 水栓金具の取り付け

自動水栓の場合

あらかじめ手洗器にセットされています。



ハンドル式水栓の場合

参照 ハンドル式水栓の施工説明書



6 手洗器の取り付け

⚠ 注意



禁止

水栓部分を持たない
給水金具が破損して水漏れし、財産損害発生
の原因となります。



必ず守る

パッキン(排水口)がセットされていることを確認する
水漏れして建物や設備などをめらす財産損害
発生の原因となります。

② けがき → 下穴※



※【壁裏補強なしの場合】

下穴 → ボードアンカー
(オプション)



取付穴位置

型紙

③ 型紙を外す

④ トラストピンねじ 4×50(4本)

「付属材セット(手洗器)」同梱
※ボードアンカー取付部は手締め

取付材

① ここにあわせる

⑤ 側板の奥行きにあわせてカットし、 側板上部にはり付ける

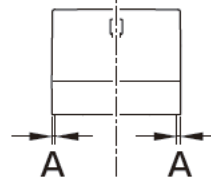
側板からクッション材がはみ出さないようにする

クッション材

⑥ 壁に押し当てる

⑦ 手洗器を取付材に 差し込む

⑧ 左右の位置を調整し 段差「A」が均等になるようにする



取付材

取付材

平座金

M6(2個)

ばね座金

M6(2個)

平座金

M6(2個)

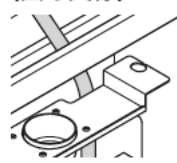
ローレットナット

M6(2個)

⑨ 取付材にフレキホースを通す

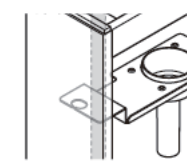
【左勝手】

右側の切り欠きに通す
(図の実線)



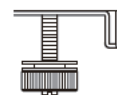
【右勝手】

左側の切り欠きに通す
(図の破線)



⑩

寸切ボルトの
先端が見える
までローレット
ナットを入れる



⑫ ローレットナットを しっかり締め付ける

手洗器にがたつきがない
ことを確認

⑪ 手締めで



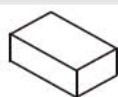
しっかり寸切ボルトを締め込む

※締め付時、手洗器との摩擦音が
なることがあります。

できるだけ真っすぐ入るよう、手を沿えて締め込む
※若干斜めになっても、ローレットナットの締め付けが
できれば問題ありません。

15. 給排水部材 (手洗器)

使用部材



詰め合わせ箱 (手洗器キャビネット用)

自動水栓コントローラー部



コントローラー
(1個)



自動水栓機能部
(1個)



ファスナーガイド
(1個)



つば付ナット
(1個)



取付金具
(1個)

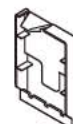


座付タッピンねじ
4.5×38(2本)



ホースクランプ
(1個)

コントローラー固定材セット

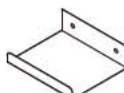


コントローラー
固定材(1個)



トラス
タッピンねじ
4×30(3本)

コンセントプレートカバー※電気温水器付の場合



コンセントプレートカバー
(1個)



トラスタッピンねじ
4×30(2本)



その他包装

カウンター

排水ソケットセット



袋ナット
(1個)



バックン(排水口)
(1個)

ドラムトラップ組品

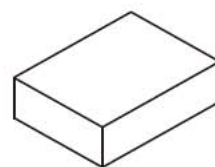


ドラム
トラップ
(1個)



クイック
ファスナー
(1個)

電気温水器※電気温水器付の場合



(1箱)

排水管組品



(1本)

付属材セット



トラス
タッピンねじ
4×12(2本)



結束バンド
(2個)



ホースクランプ(大)
(2個)

付属材セット (キャビネット)

ホースクランプセット



ホースクランプ
(1個)



トラスタッピンねじ
4×30(1本)

排水管固定材セット



皿タッピンねじ
4×16(1本)

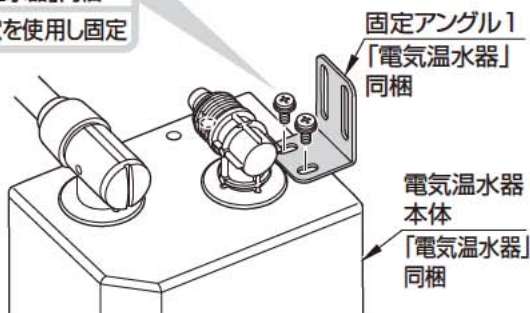
1 電気温水器の取り付け

電気温水器なしの
場合は **2** へ

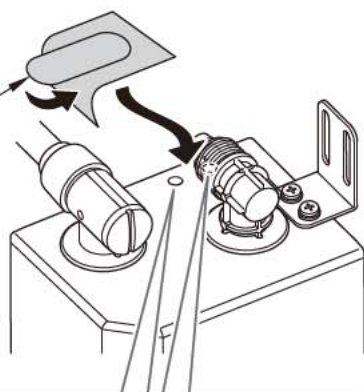
① 手締めで



座金組込なべ小ねじ
M4×10(2本)
「電気温水器」同梱
短辺側の穴を使用し固定

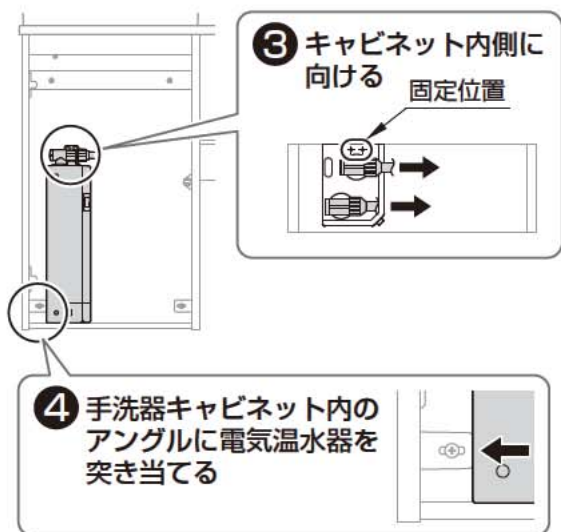


化粧ラベル
「電気温水器」同梱

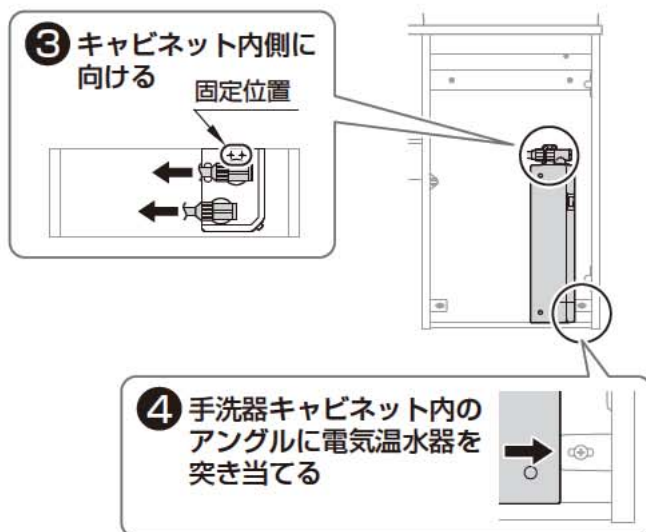


② 長辺側の穴に化粧ラベルをはりふさぐ

【左勝手】



【右勝手】



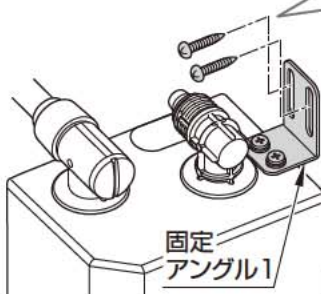
⑤ 壁に固定する※

なべタッピンねじ
4×30(2本)
「電気温水器」同梱

※【壁裏補強なしの場合】
下穴 → ボードアンカー
(オプション)



φ10
ボードアンカー取付部は手締め



! 警告

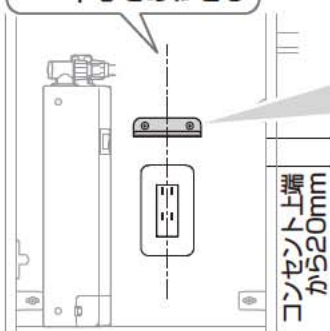
電源コード・アース線は、キャビネットと
電気温水器との間や、扉に挟まない
コードが傷つき、火災や感電の原因となります。



電源コードはコンセント
プレートカバーの上を
通さない
結露水がコードを伝わり
コンセントにかかり、
火災や感電のおそれ
があります。



⑥ コンセントと 中心をあわせる



⑦ トラスタッピンねじ 4×30(2本)

※【壁裏補強なしの場合】
下穴 → ボードアンカー
(オプション)



φ10
ボードアンカー取付部は手締め



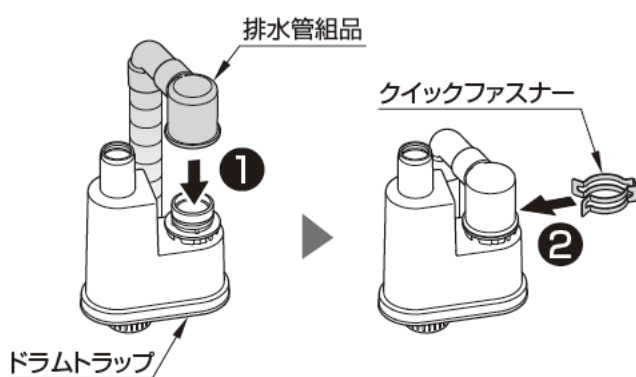
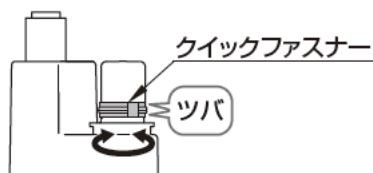
2 ドラムトラップの取り付け

⚠ 注意

- ・クイックファスナーが正しく固定されていることを確認する
- ・全周にツバがかかっていることを確認する
水漏れして家財などをぬらす財産損害発生
の原因となります。

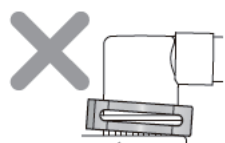
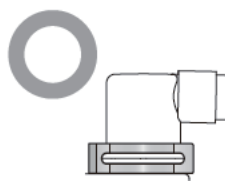


必ず守る

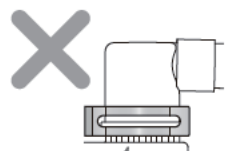


クイックファスナーの取り付けかた

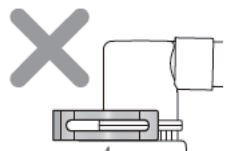
- ③ クイックファスナーが正しくセットされているか確認する



クイックファスナーが
斜めにセットされている



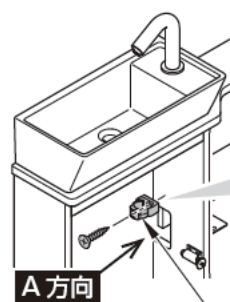
クイックファスナーが片側
だけにセットされている



クイックファスナーが途中
までセットされている

- ④ 排水管組品を強く引っ張って抜けないことを確認する

クイックファスナーを正しくセットする
排水管組品が抜けて水漏れのおそれがあります。



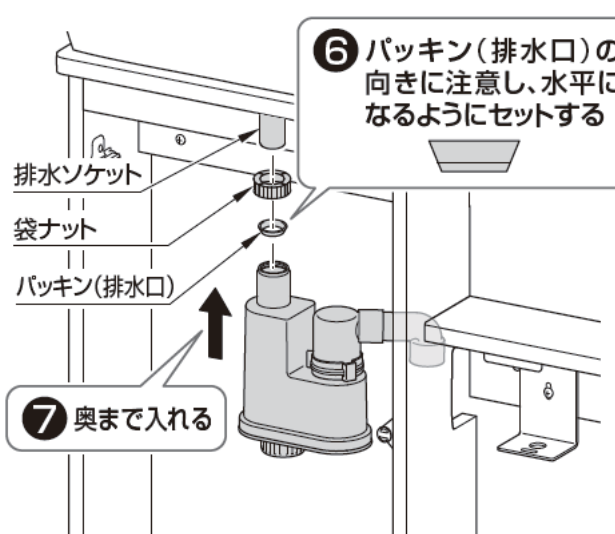
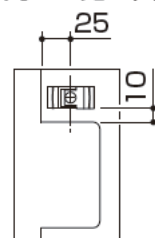
取付材
「付属材セット(キャビネット)
排水管固定材セット」同梱

- ⑤ けがき → 下穴



手締めで
皿タッピンねじ
4×16(1本)

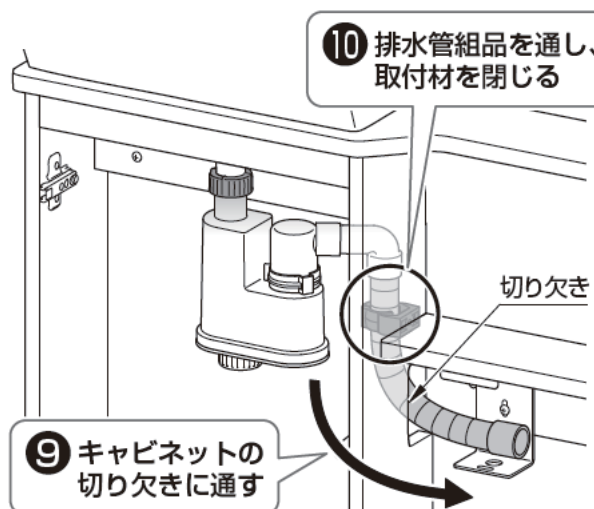
【A方向から見た図】



- ⑥ パッキン(排水口)の
向きに注意し、水平に
なるようにセットする

- ⑦ 奥まで入れる

- ⑧ 各部の袋ナットを手で確実に締める
※手で軽く抵抗があるところまで回し、さらに90度以上
締め付けるのが目安です。



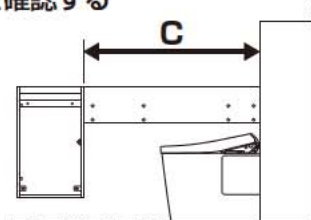
- ⑩ 排水管組品を通し、
取付材を閉じる

- ⑨ キャビネットの
切り欠きに通す

切り欠き

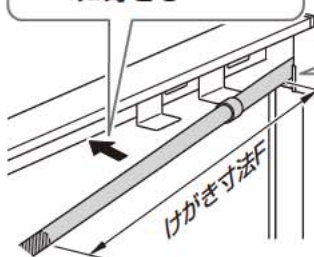
3 手洗器用排水ホースの取り付け

① C寸法を確認する

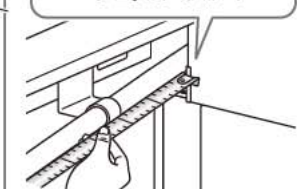


② 奥行寸法C	規定寸法	けがき寸法F
	180	

④ 上段カウンター側に寄せる



③ 大便器キャビネットに当て、けがく

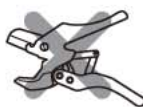


⚠ 注意



必ず守る

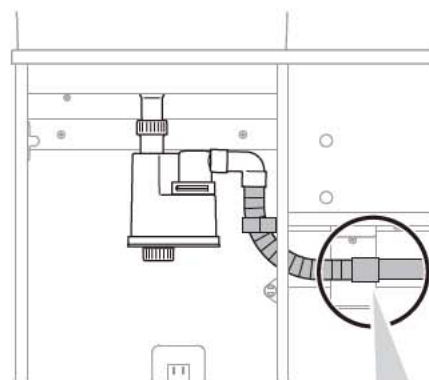
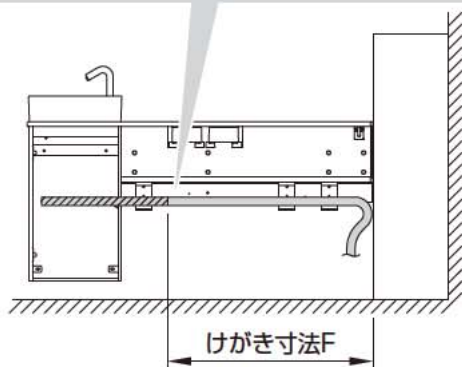
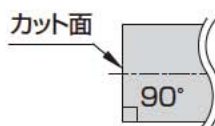
手洗器用排水ホースカット時、押切タイプのパイプカッターは使用しない
手洗器用排水ホースの断面が変形し、水漏れして家財などをぬらす財産損害発生の原因となります。



⑤ カット



手洗器用排水ホースは垂直にカットする



⑥ 両面塗布

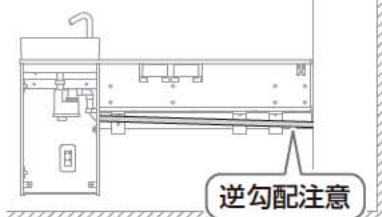


排水管組品

手洗器用排水ホース

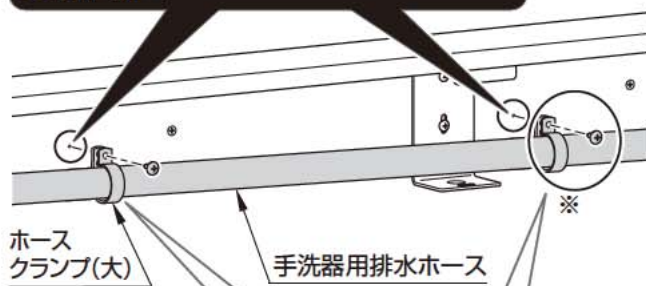
⑦

⑧ 逆勾配にならないように、必ず下段横さんの下穴に固定する



逆勾配注意

異音発生防止



ホース
クランプ(大)

手洗器用排水ホース

⑨ 固定する

手締めで

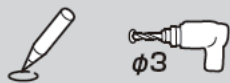


トラスタッピンねじ
4×12(2本)

※C寸法が705mm~の場合のみ取り付け

4 コントローラー・機能部の取り付け

① けがき → 下穴※

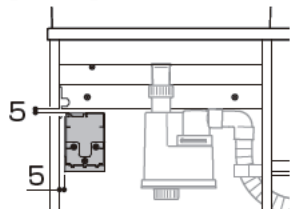


※【壁裏補強なしの場合】

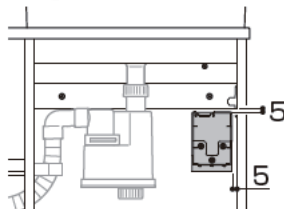
下穴 → ボードアンカー
(オプション)



【左勝手】



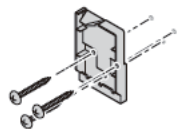
【右勝手】



②

トラスタッピンねじ
4×30 (3本)
※ボードアンカー
取付部は手締め

下穴あわせで固定する



③ けがき → 下穴※

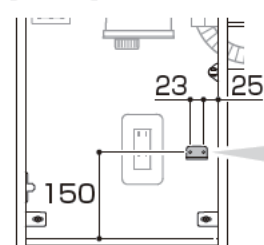


※【壁裏補強なしの場合】

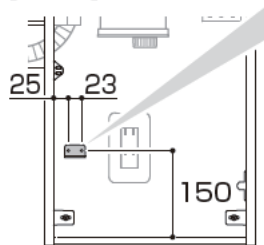
下穴 → ボードアンカー
(オプション)



【左勝手】



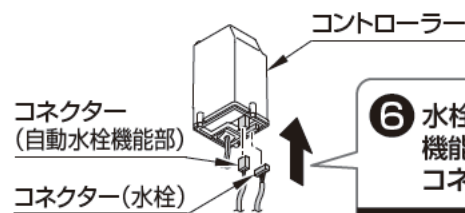
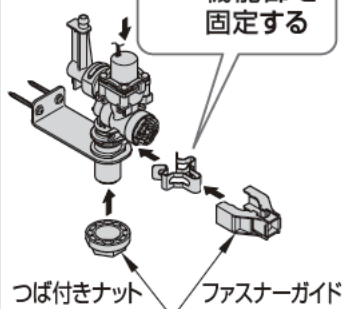
【右勝手】



④ 座付タッピンねじ
4.5×38 (2本)
※ボードアンカー取付部は手締め

※ボードアンカー取付部は手締め

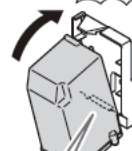
⑤ 自動水栓
機能部を
固定する



⑥ 水栓・自動水栓
機能部からの
コネクターを接続

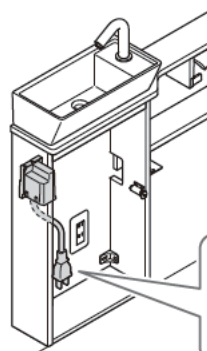
接続はハウジングを持って
差し込む

カチッ



⑦ 下部をひっか
けながら固定する

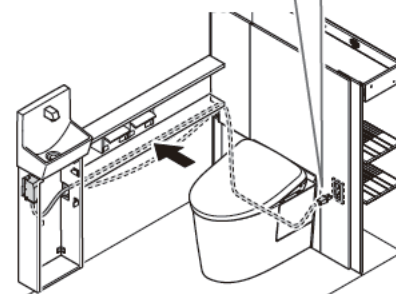
電気温水器ありの場合



⑧ 自動水栓のプラグを
キャビネット内の
コンセント付近に配置

電気温水器なしの場合

⑧ 自動水栓のプラグを大便器周辺の
コンセント付近に配置



5 ホースの取り付け

⚠ 注意



必ず守る

- ・スパウト連結ホースは、切断面が垂直になるようにカットする
- ・スパウト連結ホース接続後、確実に固定されていることを確認する
水漏れして家財などをぬらす財産損害発生の原因となります。
- ・スパウト連結ホースが確実に差し込まれているか確認する
- ・スパウト連結ホースが折れ曲がらないよう注意する
水漏れして家財などをぬらす財産損害発生の原因となります。

90°

自動水栓（電気温水器あり）の場合

①-① カット



適切な長さに
カットする

給水口
継手

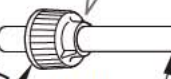
出湯口
継手



①-③ 差し込む



①-② 袋ナットを通す



袋ナット

スパウト
連結ホース

①-④

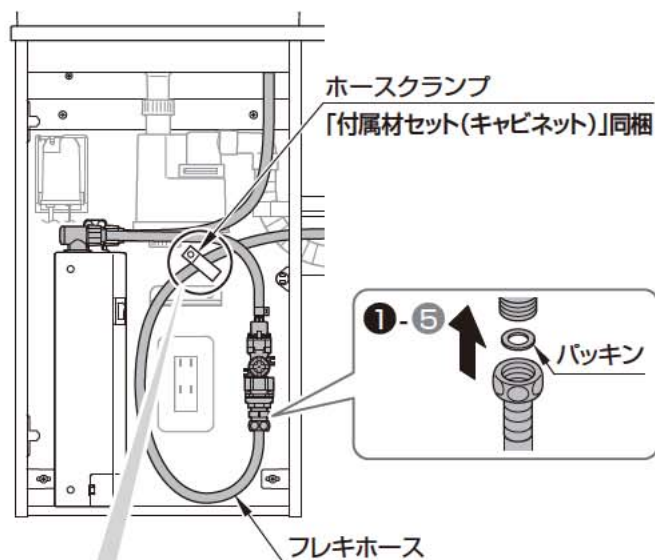
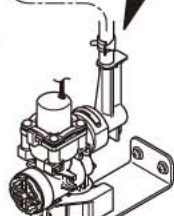
給水
ホース
ホース
クランプ



- ・ホースクランプは下図の位置にくるようにする
- ・必ずホースクランプでスパウト連結ホース、給水ホースを固定する



ホースクランプが
自動水栓機能部の
上面に付くこと



ホースクランプ

「付属材セット(キャビネット)」同梱

①-⑤



バックシ

フレキホース

①-⑥

けがき → 下穴※

※【壁裏補強なしの場合】



φ3



φ10



けがき → 下穴 → ボードアンカー
(オプション)

ボードアンカー取付部は手締め

①-⑦

トラスタッピンねじ
4×30(1本)

P.90 ②へ

自動水栓 (電気温水器なし)

①-① カット

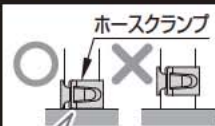
適切な長さに
カットする



①-②

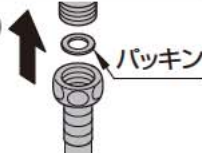


・ホースクランプは下図の
位置にくるようにする
・必ずホースクランプで
給水ホースを固定する



ホースクランプが
自動水栓機能部の
上面に付くこと

①-③



①-④

けがき → 下穴※

※【壁裏補強なしの場合】

けがき → 下穴 → ボードアンカー
(オプション)



ボードアンカー取付部は手締め

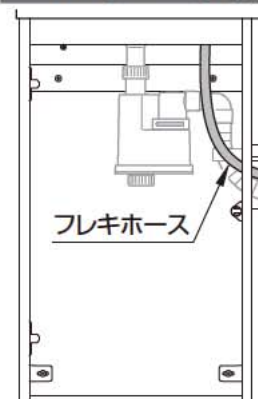
①-⑤

トラスタッピンねじ
4×30(1本)

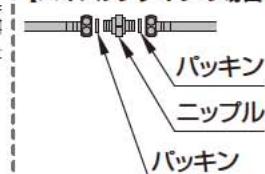
同ページ ②へ

ハンドル式水栓

ベッセルタイプ (丸形) / ハイバックタイプの場合



【ハイバックタイプの場合のみ】

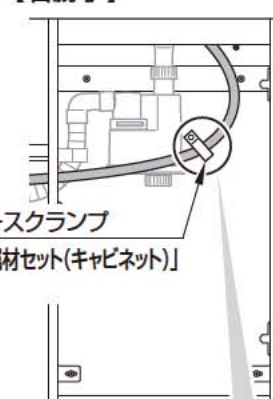


ベッセルタイプ (角形) の場合

【左勝手】



【右勝手】



①-①

けがき → 下穴※

※【壁裏補強なしの場合】

けがき → 下穴 → ボードアンカー
(オプション)

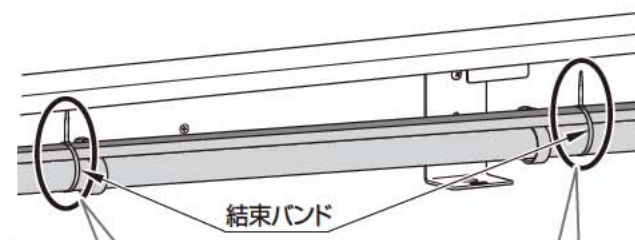


ボードアンカー取付部は手締め

①-②

トラスタッピンねじ
4×30(1本)

各タイプ共通



② フレキホースを手洗器用
排水ホースの上に載せる

③ 固定する

※自動水栓の電源コードがある
場合は手洗器用排水ホースの
上に載せる



電源コード

フレキホース

16. 試運転・確認

使用部材



コアキャビネット

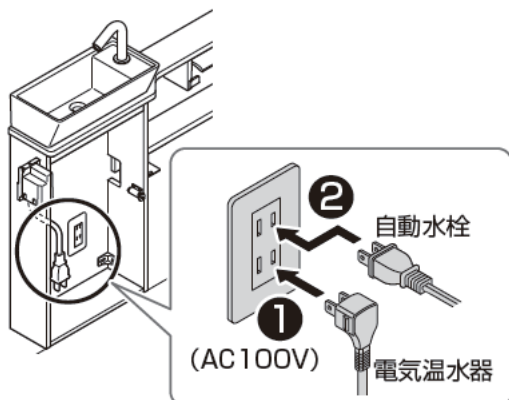
セットタンク

【流動方式】

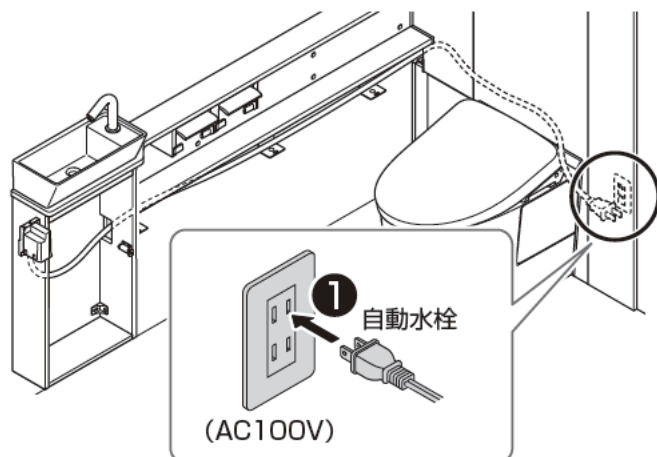


1 電源プラグの接続 自動水栓以外の場合は 2 へ

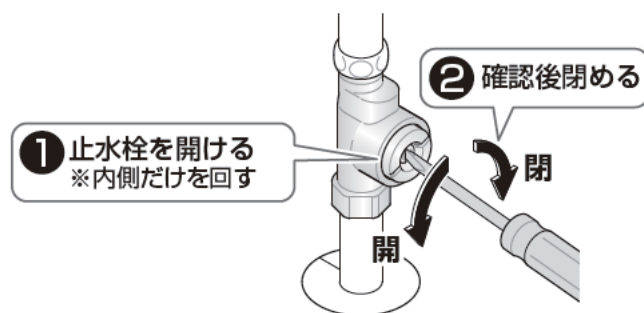
電気温水器ありの場合



電気温水器なしの場合



2 試運転の前準備

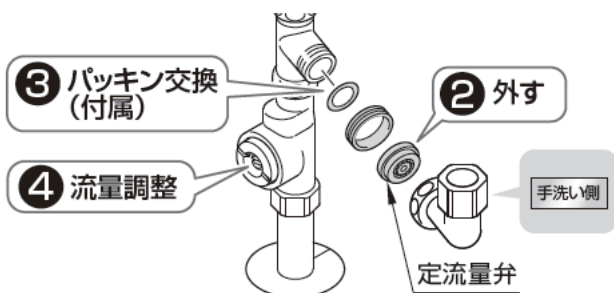


MEMO

3 水栓の吐水量確認

① 水栓の吐水確認をする

【吐水量が少ない場合】

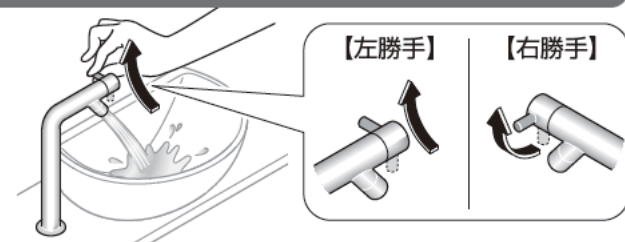


ベッセルタイプ (丸形)

自動水栓



ハンドル式水栓

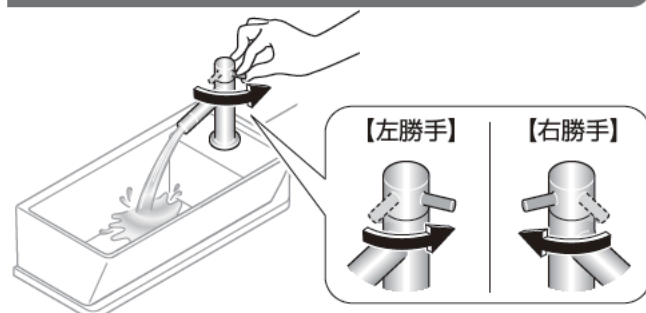


ベッセルタイプ (角形)

自動水栓

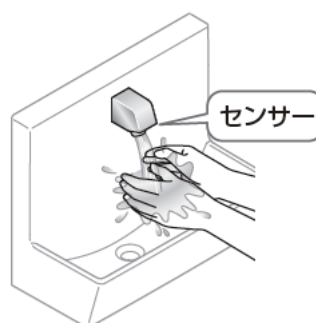


ハンドル式水栓

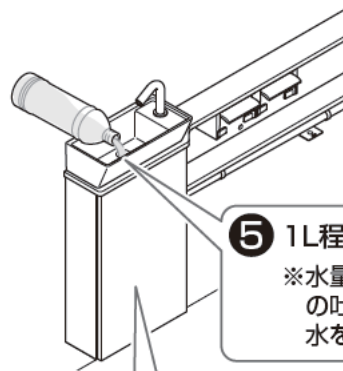


ハイバックタイプ

自動水栓

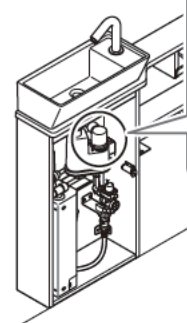
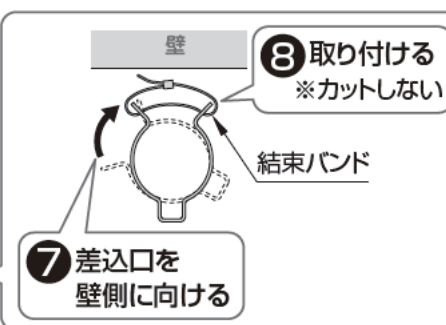
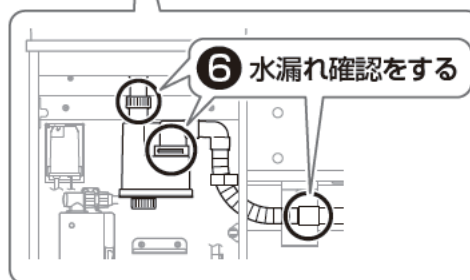


ハンドル式水栓



⑤ 1L程度水を流す

※水量が必要なため直前に手洗器の吐水確認をしても追加で水を流すこと



4 電気温水器の吐水確認

① 電気温水器を試運転し、吐水確認を行う

参照 電気温水器の施工説明書

5 ウォシュレットの吐水確認

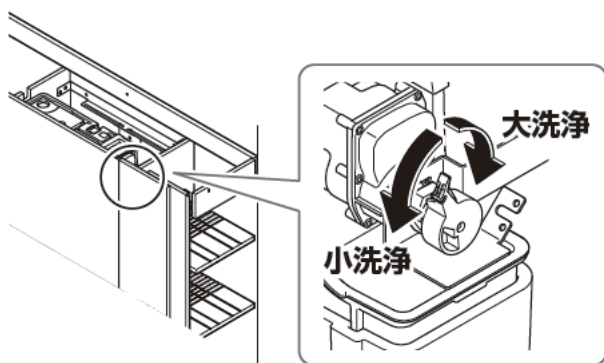
① ウォシュレットを試運転し、吐水確認を行う

参照 ウォシュレットの施工説明書

※試運転の前および試運転完了時は、必ず電源プラグがコンセントに差し込まれていることを確認してください。
(ウォシュレット本体表示部の「運転」ランプが点灯します。)

6 便器洗浄の確認

洗浄レバー



① 作動確認

コアキャビネット内の洗浄レバーを操作する

- ☐ 大・小洗浄とも正常に行われるか
- ☐ スムーズに回転するか

リモコン

① 流すボタンが取り付けられているか確認する



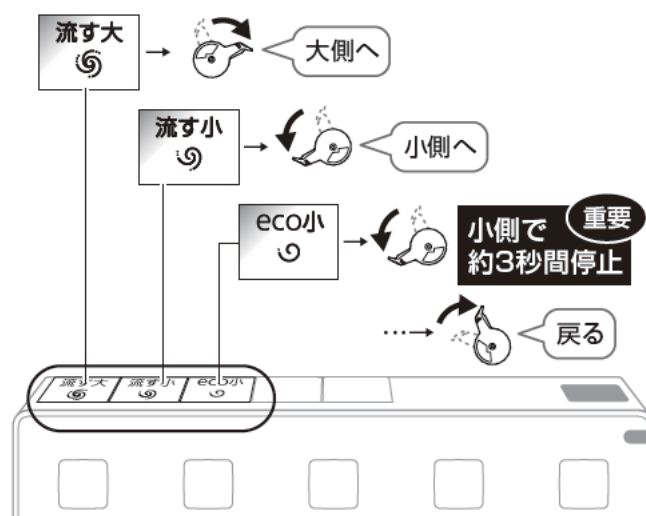
参照 流すボタン取付説明書

② 作動確認

☐ 「大」・「小」・「eco小」のボタンを押して、それぞれの洗浄が正常に行われるか

※連続して押すと作動しません。

約10秒たってから、もう一度ボタンを押してください。



※機種によってデザインなどが異なります。

③ 試運転完了後、「運転入/切」が、「入」になっていることを確認する（「運転ランプ」点灯）

「切」のときは、電源プラグをコンセントに差し込んでもウォシュレットは作動しません。

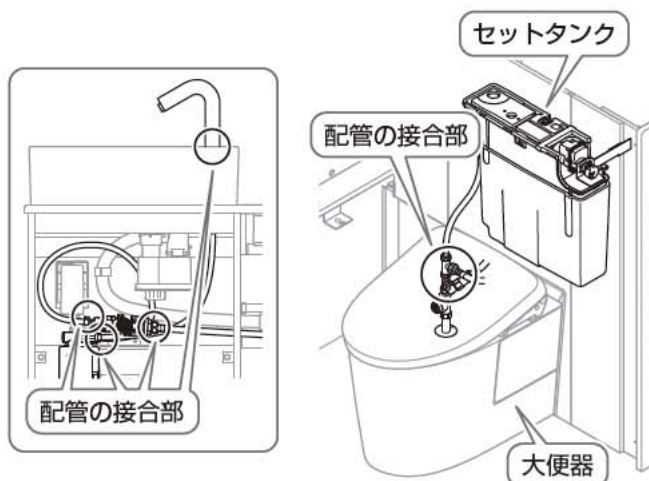
※お客様に引き渡すまでに時間があっても「運転入/切」を切らないでください。

7 大便器・配管類の水漏れ確認

① 作動確認

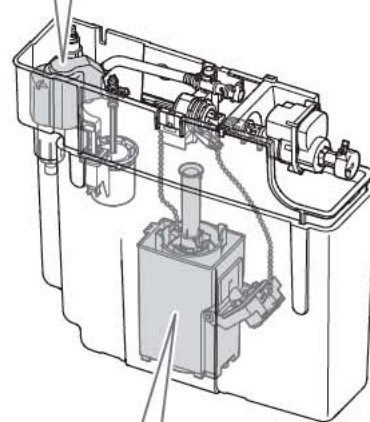
2～3度洗浄させて、水漏れなどが無いことを確認する

- ☐ 給水ホースの接続箇所は正しいか
- ☐ 配管接合部からの水漏れがないか
- ☐ 大便器・セットタンクからの水漏れがないか



タンク内を調整する際のご注意

漏水防止カバーを
外さない



制御筒に力を加えない
排水弁が浮いて、水が流れっぱなし
になるおそれがあります。

8 水位の確認

必ず実施してください

正常な状態

設定変更不要です。



この面まで
水がたまっている

設定を行うと、洗浄不良に
なる場合があります。

水たまり面が低い

設定変更してください。

▶同ページ
「水たまり面が低い場合の
対応方法」



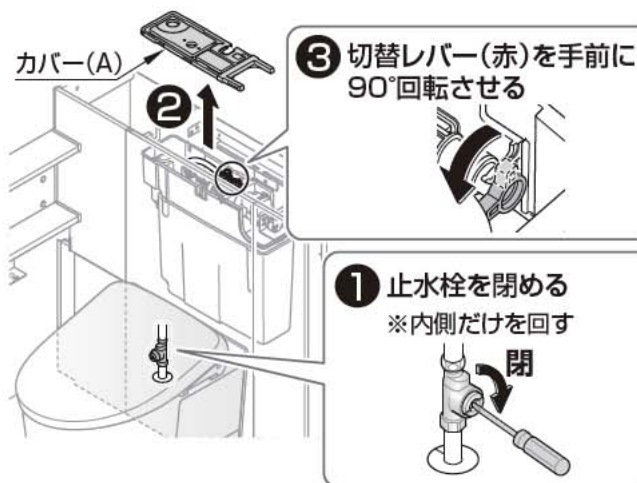
この面(斜線部分)まで
水がたまっていない

汚物付着の原因になります。
(水たまり面 低下の理由)
・排水管に曲がりが多い
・通気が不十分

※水たまり面の判断に迷ったとき

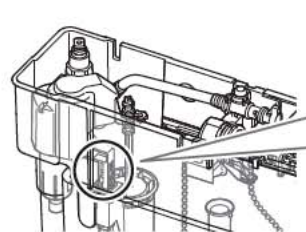
ペットボトルやバケツなどで徐々に水を足し、水たまり面が
上昇しない場合は正常です。

水たまり面が低い場合の対応方法

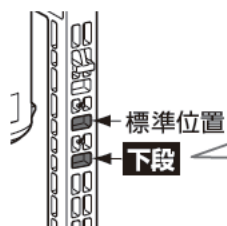


③ 切替レバー(赤)を手前に
90°回転させる

① 止水栓を閉める
※内側だけを回す

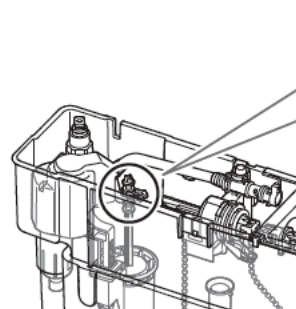


④ フック解除

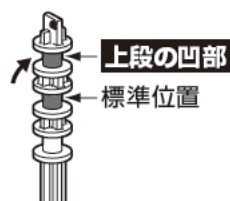


5 下段にフックを差し込む

※位置を間違えると給水しない、もしくは給水が止まらないことがあります。



6 浮玉を外す



7 上段の凹部を取り付ける

※位置を間違えると給水しない、もしくは給水が止まらないことがあります。

8 カバー(A)を元に戻す



9 完了後の確認

- ☐ 止水栓を開け、2～3度洗浄させて、水漏れなどがないか
- ☐ 正常に洗浄するか
- ☐ 洗浄後、水たまり面の低下がないか

自治体によって洗浄水量の規制がある場合

【変更前】

大洗浄	4.8L
小洗浄	3.6L
eco小洗浄	3.4L

大洗浄	6L
小洗浄	4.8L
eco小洗浄	4.6L

大洗浄	8L
小洗浄	7.5L
eco小洗浄	7L

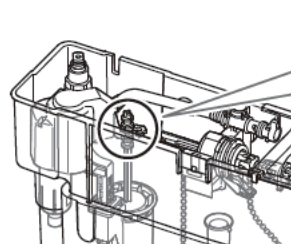
変更
できます。

大洗浄6L、小洗浄4.8L、eco小洗浄4.6L仕様への切替方法

1～3

▶P.94 水たまり面が低い場合の対応方法 の

1～3を実施

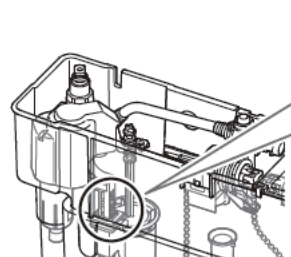


4 浮玉を外す

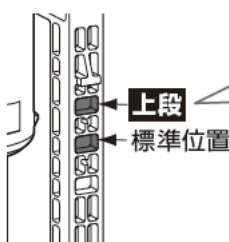


5 下段の凹部を取り付ける

※位置を間違えると給水しない、もしくは給水が止まらないことがあります。



6 フックを解除する



7 上段にフックを差し込む

※位置を間違えると給水しない、もしくは給水が止まらないことがあります。

⑧ カバー(A)を元に戻す



⑨ 完了後の確認

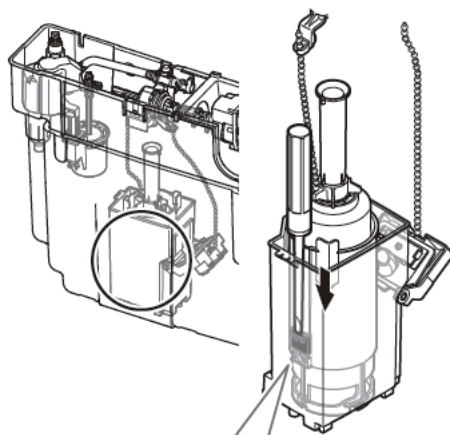
- ☐ 止水栓を開け、2〜3度洗浄させて、水漏れなどがないか
- ☐ 正常に洗浄するか
- ☐ 洗浄後、水たまり面の低下がないか

大洗浄8L、小洗浄7.5L、eco小洗浄7L仕様への切替方法

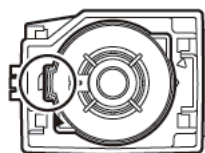
①〜⑦

▶ P.95 大洗浄6L、小洗浄4.8L、eco小洗浄4.6L仕様への切替方法 の

①〜⑦を実施



⑧ 先の長いマイナスドライバーを差し込み、切替弁を下げる



⑨ カバー(A)を元に戻す

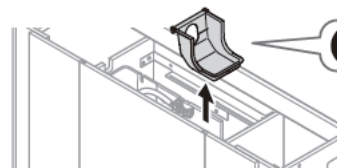


⑩ 完了後の確認

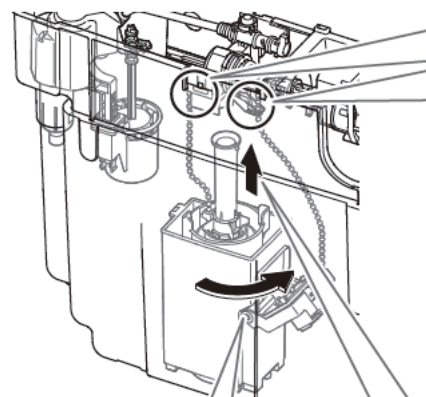
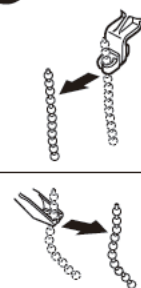
- ☐ 止水栓を開け、2〜3度洗浄させて、水漏れなどがないか
- ☐ 正常に洗浄するか
- ☐ 洗浄後、水たまり面の低下がないか

切替弁を下げられなかった場合

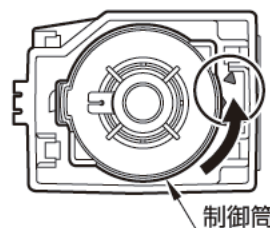
① カバー(B)を外す



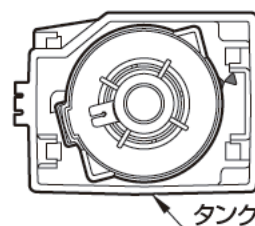
② 玉鎖を外す



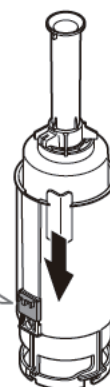
③ 制御筒を反時計回りに回し▲をあわせる



④ 外す ※制御筒の取り外し時にセットタンクに傷をつけないこと

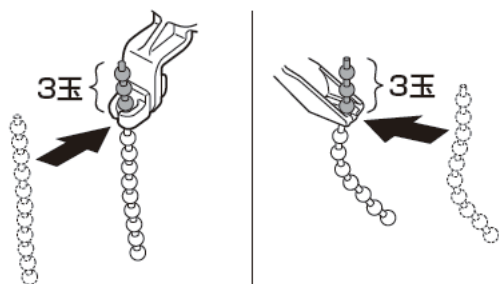


⑤ 切替弁を下げる

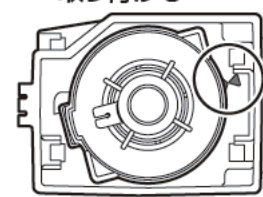


8 玉鎖を取り付ける

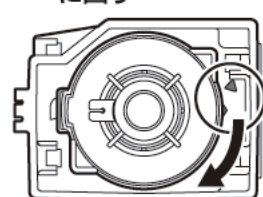
※正しく取り付けないと止水不良になります。



6 ▲をあわせて 取り付ける



7 制御筒を時計回りに回す



9 カバー(2個)を元に戻す



10 完了後の確認

- ☐ 止水栓を開け、2～3度洗浄させて、水漏れなどがないか
- ☐ 正常に洗浄するか
- ☐ 洗浄後、水たまり面の低下がないか

9 やわらかライトの設定

※ウォシュレット アプリコットのやわらかライトは入/切を選択できます。

- 1 止 と 水勢
リモコンランプが
点灯・点滅するまで押す(約10秒)

確認



- 2 おしり/ソフト



- 3 ビデ/ワイド



- 4 設定したい項目を選んでボタンを押す

【「使う」とき】

水勢

+

ピー

【「使わない」とき】

水勢

-

ピーツ

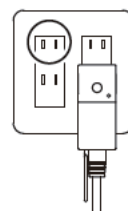
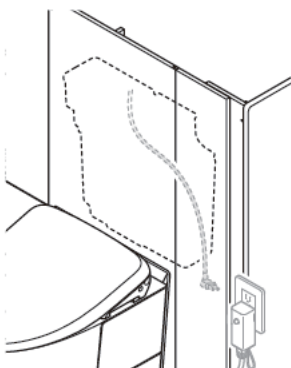
※ボタンのデザインは仕様により異なります。

10 電源プラグの差し込み

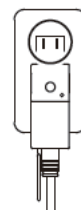
一般地/寒冷地水抜方式
の場合は11へ

- 1 コンセントを差し込む

4口コンセントの場合

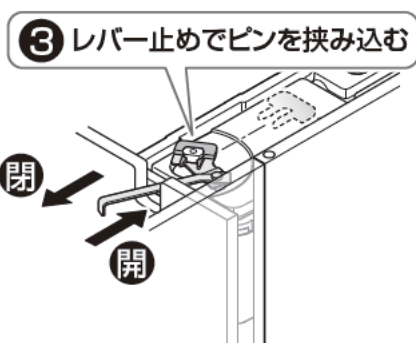


2口コンセントの場合



11

流動レバーの作動確認 一般地/寒冷地水抜方式の場合は12へ



④ 作動確認

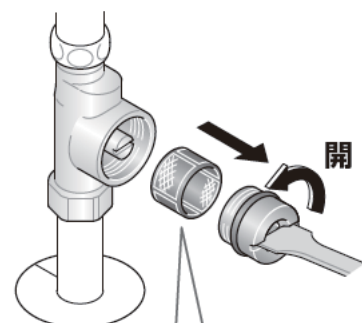
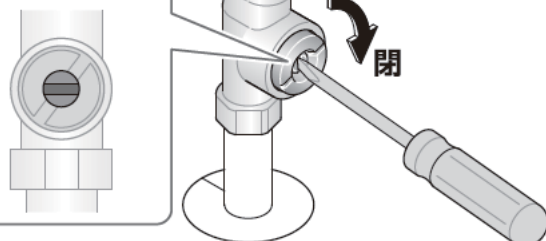
- ☐ 流動レバーを手前に回し、水が流れることを確認する。
- ☐ 作動確認後、流動レバーを奥壁側に回し、閉まることを確認する。
- ☐ 確認後、止水栓を閉める。

12

給水フィルター清掃

必ず実施してください

① 止水栓を閉める ※内側だけを回す

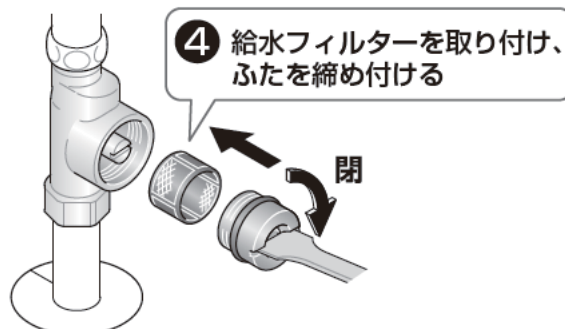


② ふたを開け、 給水フィルターを取り外す ※外側だけを回す



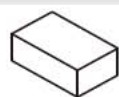
※止水栓は必ず商品同梱の専用止水栓(フィルター付き)を取り付けてください。

③ 給水フィルターの清掃



17. 天板

使用部材



詰め合わせ箱

天板開閉部材セット※まるごと収納タイプの場合

スライド丁番セット



スライド丁番
(2個)



皿タッピンねじ
3.5×14(4本)

ダンパーセット



ダンパー 本体
(1個)



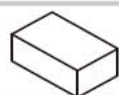
ダンパー 座金
(1個)



トラス小ねじ
M4×8(5本)



トラス小ねじ
M4×5(1本)



コアキャビネット

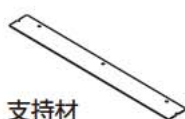
コアキャビネット

【まるごと収納タイプの場合】

底板セット



底板
(1枚)



支持材
(1個)



キャップ
(1個)



トラスタッピンねじ
4×10(5本)

天板セット

キャップセットL



キャップ(L)
(1個)



トラスタッピンねじ
4×8(2本)

天板
(1枚)

支持材セット



支持材
(1個)



トラスタッピンねじ
4×8(2本)

【スリム収納タイプの場合】

キャップセットR



キャップ(R)
(1個)



トラスタッピンねじ
4×8(2本)

MEMO

まるごと収納タイプの場合

▶P.100

スリム収納タイプの場合

▶P.102

まるごと収納タイプ

1 天板の加工

1 測定

W寸法

※奥・手前の狭い方を
基準にする

【上面図】



鬼目ナット側
※カットしない



2 けがき → カット



チッピングに注意すること



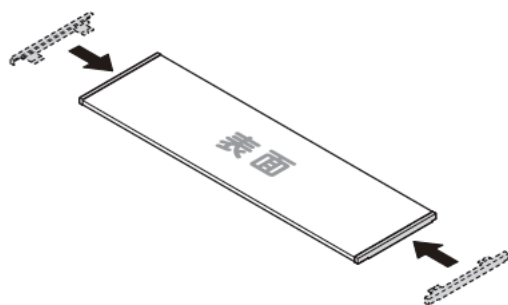
のこぎりの場合は
表面からカット



丸のこの場合は
裏面からカット

3 取り付け

※ねじ固定しない



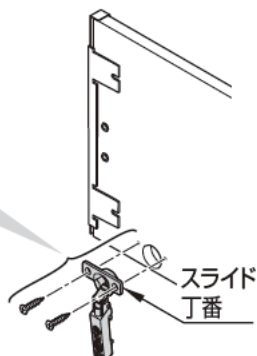
2 スライド丁番の取り付け

1 手締めで

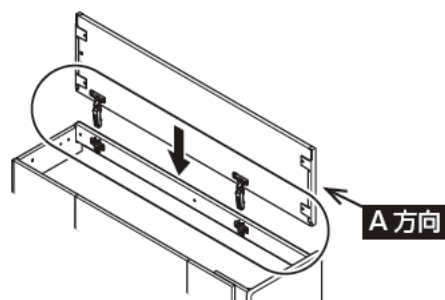


皿タッピンねじ
3.5×14(左右各2本)

扉セットに同梱されている
スライド丁番を使用しない
形は同じですがスペーサー
有無が異なります。

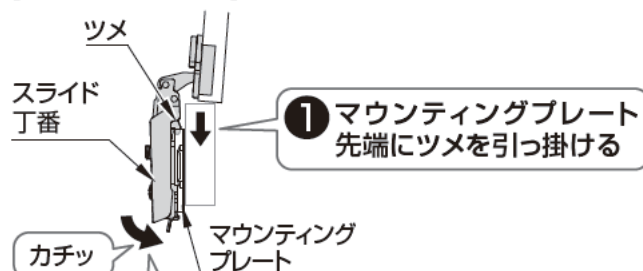


3 天板の取り付け



取り付けかた

【A方向から見た図】



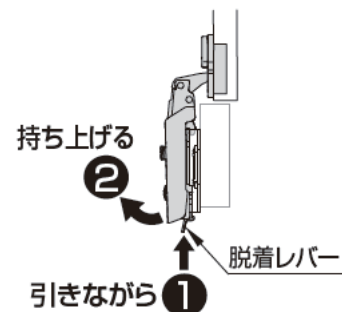
1 マウンティングプレート
先端にツメを引っ掛ける

2 押し下げる

スライド丁番本体がきちんとマウンティングプレートに装着
されているか確認する

取り外しかた

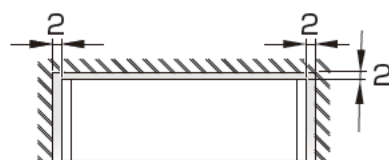
【A方向から見た図】



3 すき間を調整する

天板の両端が壁をこすらないこと

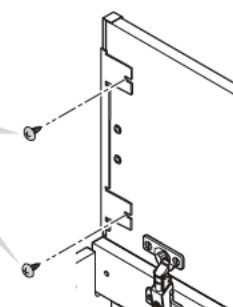
【上面図】



4 手締めで



トラスタッピンねじ
4×8(左右各2本)



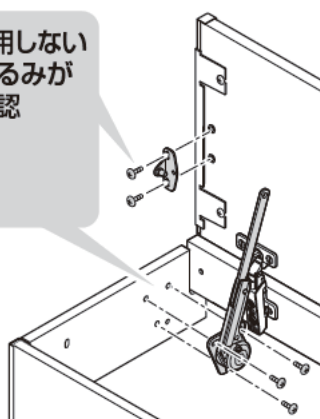
4 ダンパーの取り付け

① 手締めで



・丸穴は使用しない
・固定後ゆるみがないか確認

トラス小ねじ
M4×8 (5本)

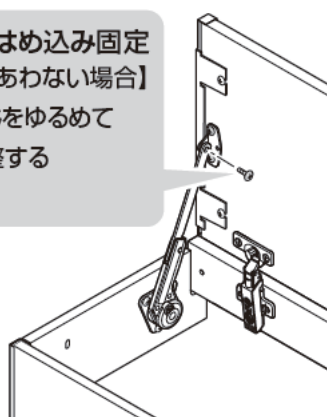


② 手締めで



軸に穴をはめ込み固定
【軸に穴があわない場合】
②のねじをゆるめて
位置を調整する

トラス小ねじ
M4×5 (1本)

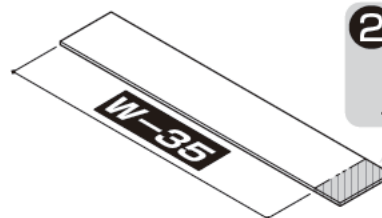


5 底板の加工

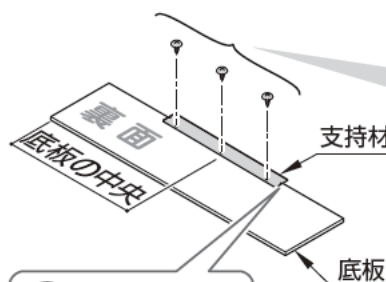
① 測定

W寸法
※奥・手前の狭い方を
基準にする

【上面図】



② けがき → カット

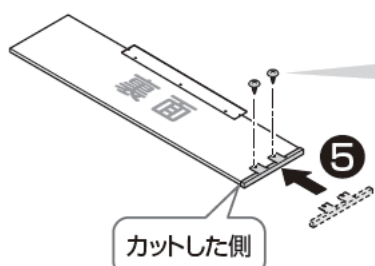


④ 手締めで



トラスタッピンねじ
4×10 (3本)

③ 底板前端にあわせる

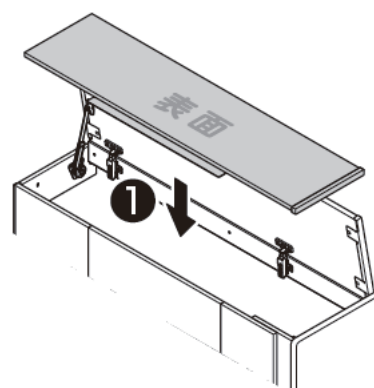


⑥ 手締めで



トラスタッピンねじ
4×10 (2本)

6 底板の取り付け



P.103 18.仕上げへ

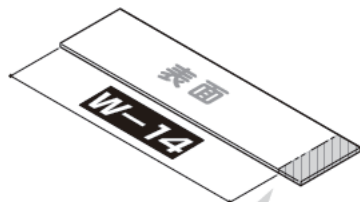
スリム収納タイプ

1 天板の加工

① 測定

W寸法
※奥・手前の狭い方を
基準にする

【上面図】



② けがき → カット



チッピングに注意すること



のこぎりの場合は
表面からカット



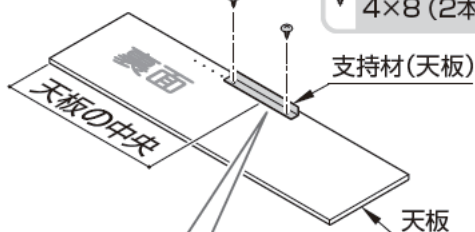
丸のこの場合は
裏面からカット

2 天板の組み立て

② 手締めで



トラスタッピンねじ
4×8 (2本)



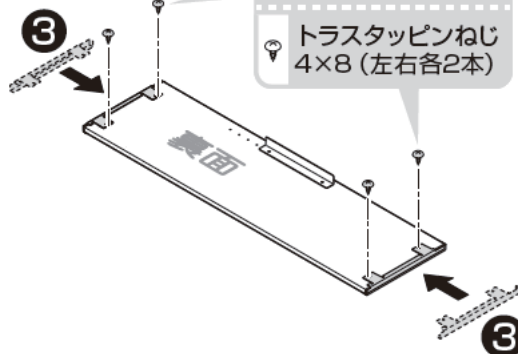
① 中心をあわせ近い位置の下穴にあわせる



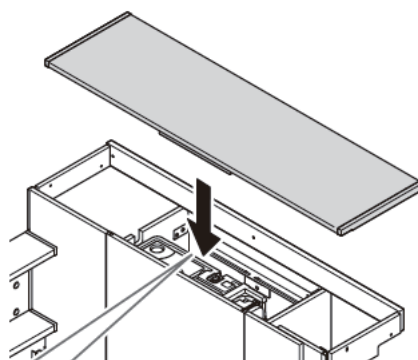
④ 手締めで



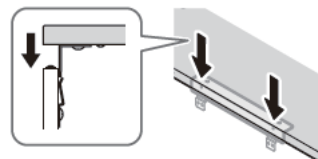
トラスタッピンねじ
4×8 (左右各2本)



3 天板の取り付け

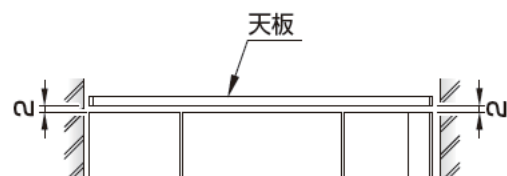


① 前板組品に支持材を差し込む



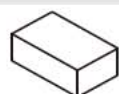
② すき間を調整する

【正面図】



18. 仕上げ

使用部材

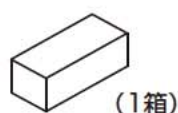


詰め合わせ箱

施工説明書

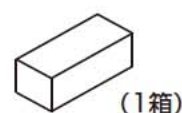


ハンドグリップ



タオル掛け

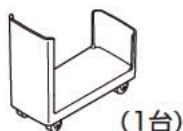
【壁取付タイプ】



コアキャビネット

コアキャビネット

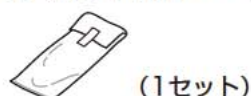
引き出しラック



詰め合わせ箱 (手洗器キャビネット用)

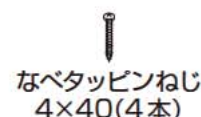
タオル掛け

【手洗器下取付タイプ】



紙巻器

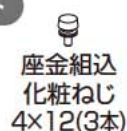
【メタル製】



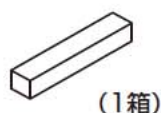
その他包装

カウンター

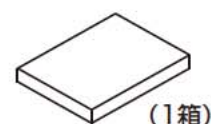
付属材セット



木製手すり



化粧鏡



MEMO

1 手洗器キャビネット扉の調整

【扉を開けた時、壁などに当たる場合】

クッション材



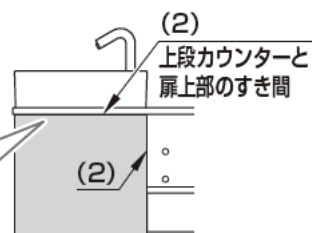
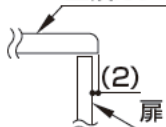
① クッション材をはり付ける
「施工説明書」同梱

※はり付け面を水ぶきし、乾燥後はり付けてください。
※お使いにならない場合は、取扱説明書と一緒に
お客様に渡してください。

2 扉を調整する

【側面図】

上段カウンター



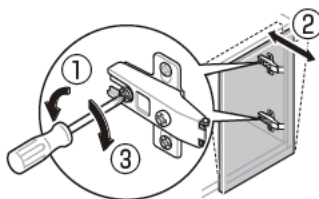
前後を調整 (右開き)

① ゆるめる (左回し)

② 扉を動かす

③ 締める (右回し)

※左開きも同様です。



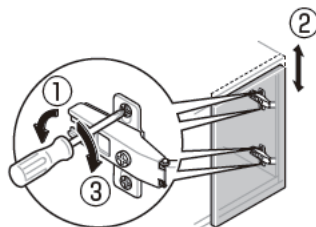
上下を調整 (右開き)

① ゆるめる (左回し)

② 扉を動かす

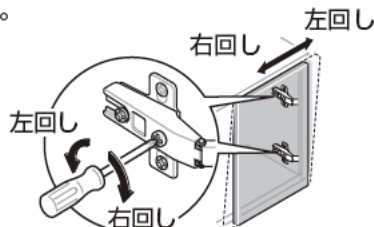
③ 締める (右回し)

※左開きも同様です。



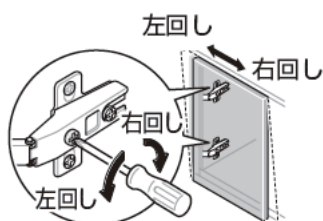
左右を調整 (右開き)

ねじを回すと、扉が動く。



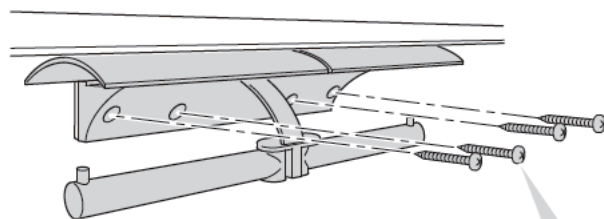
左右を調整 (左開き)

ねじを回すと、扉が動く。



2 メタル製紙巻器の取り付け

樹脂製紙巻器の場合は
3へ

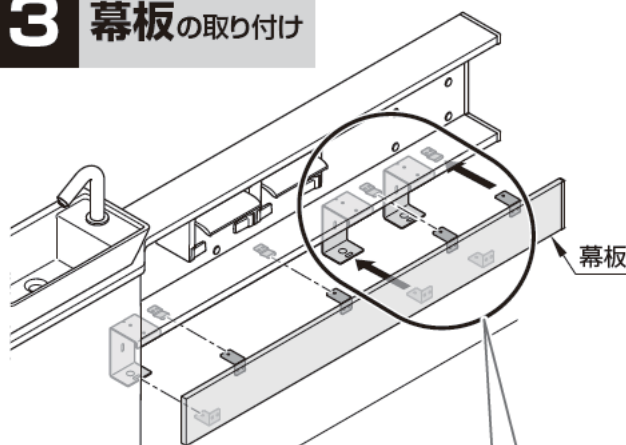


① けがき → 下穴



なべタッピンねじ
4×40 (4本)

3 幕板の取り付け



② 差し込む

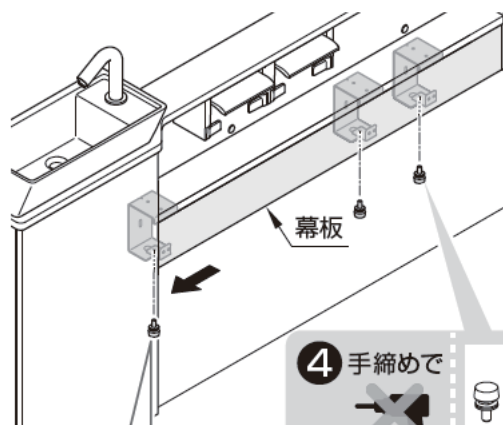
取付材

アングル

① 上に載せる

アングル

ブラケット



④ 手締めで



座金組込
化粧ねじ
4×12 (3本)

③ 手洗器キャビネット
に押し当て

4 リモコン

- ① リモコンの取り付け 参照 ウォシュレット施工説明書
- ② リモコンの設定・作動の確認 ▶ P.54 **5** へ

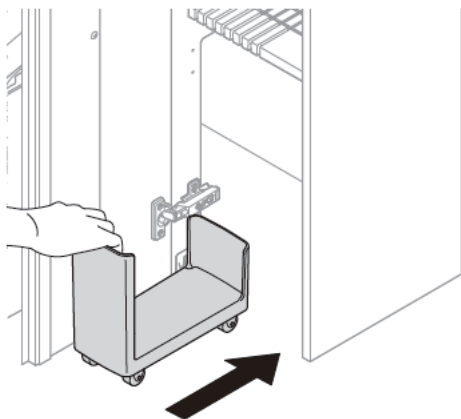
5 器具類の取り付け

【タオル掛け、化粧鏡、木製手すり、ハンドグリップを選択している場合】

参照 各商品に同封されている施工説明書

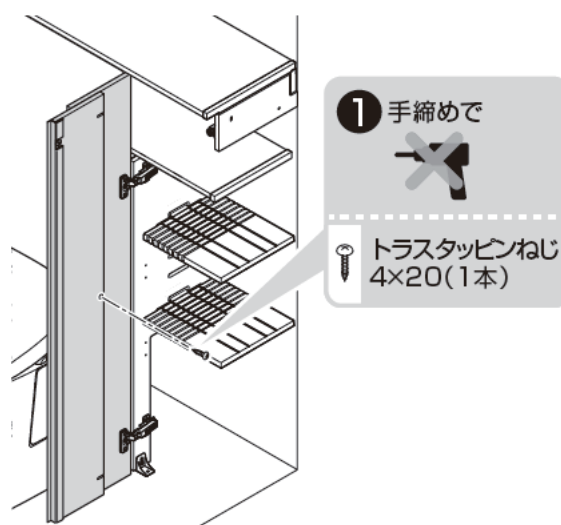
6 引き出しラック

大便器キャビネットの中に収納する

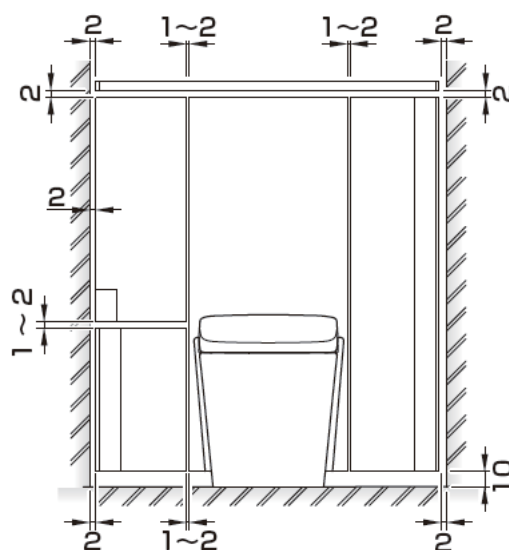


7 扉の本固定

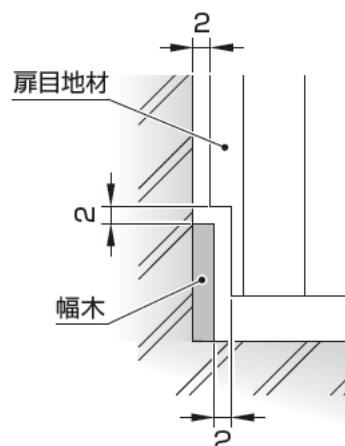
扉の調整後(次ページ参照)本固定



仕上げ状態(目安)

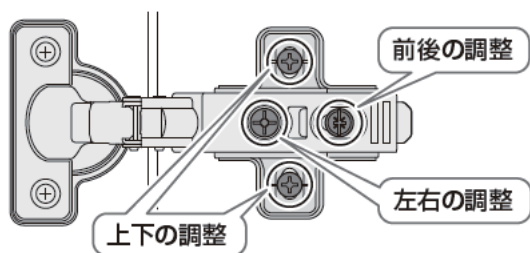


幅木がある場合のみ対応

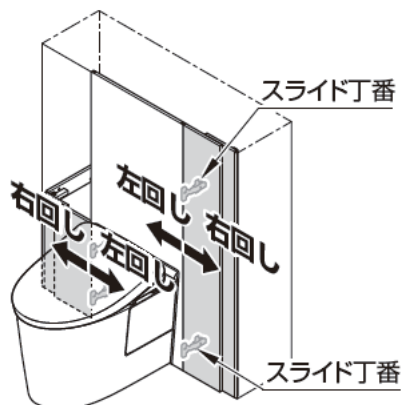


扉の調整

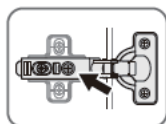
各ねじを調整することで扉を調整できます



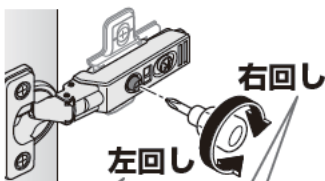
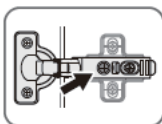
左右方向



【左扉】



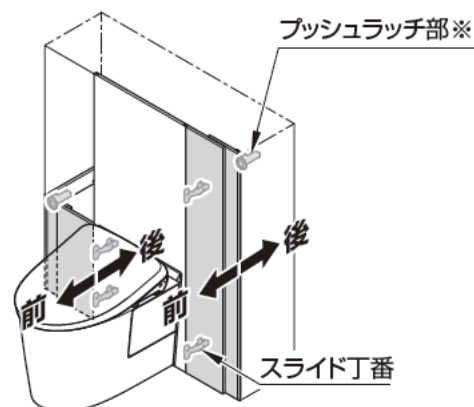
【右扉】



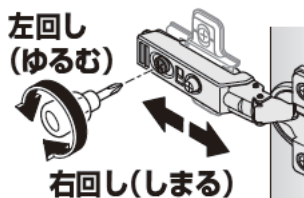
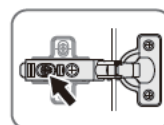
2 前後・上下方向の調整

ねじをゆるめ、扉を持って各方向にずらして位置を調整し、ねじを締めて固定してください。

前後方向

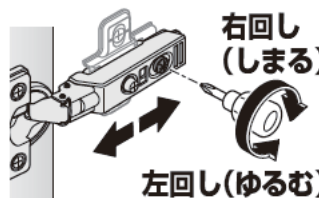
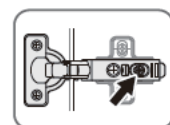


【左扉】



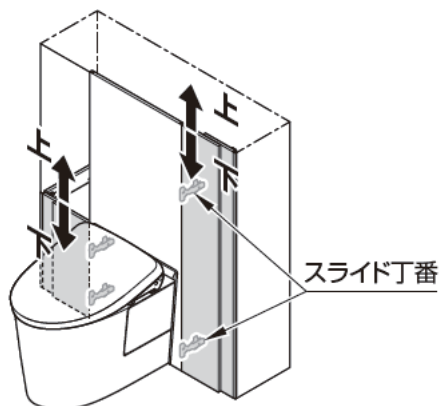
※プッシュラッチ部も
前後調整できます。

【右扉】

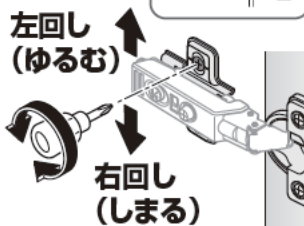
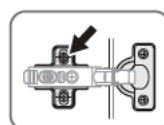


上下方向

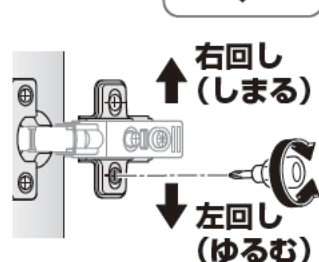
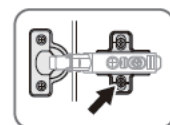
扉の上下調整は上下2つのスライド丁番の移動方向にあわせること



【左扉】



【右扉】



※扉の向きによって
調整ねじ位置が変わります。

8 天板の調整

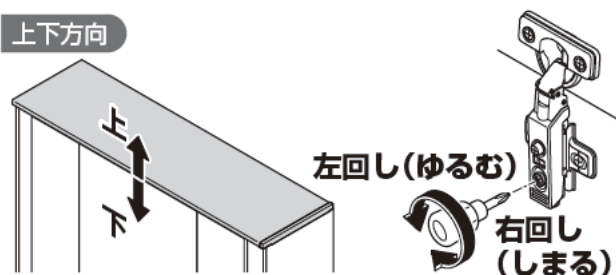
扉の調整

前後方向

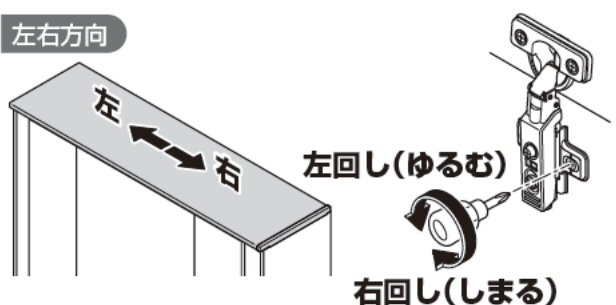


上下・左右はねじをゆるめ、天板を持って各方向にずらして位置を調整し、ねじをしめて固定してください。

上下方向



左右方向



閉まり速度調整

⚠ 注意



禁止

調整時に弱めすぎない
天板が速く閉まり、けがの原因となります。

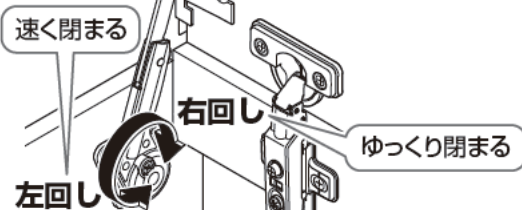
分解、改造をしない
器具が破損し、けがの原因となります。

① ゆるみがある場合、増し締めしてしっかり固定する

※速度調節部は、限度以上に回さないでください。

※温度によりダンパーの作用速度が変わることがありますが、故障ではありません。

速く閉まる



9 クッション材のはり付け

【天板・便ふたを開けた時、壁などに当たる場合】

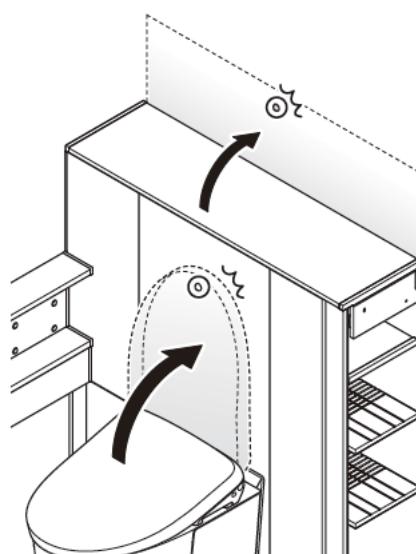
クッション材



① クッション材をはり付ける 「施工説明書」 「ウォシュレット」同梱

	天板	便ふた
まるごと収納タイプ	○	○
スリム収納タイプ	—	○

※はり付け面を水ぶきし、乾燥後はり付けてください。
※お使いにならない場合は、取扱説明書と一緒に
お客様に渡してください。



10 シリコン系シール材の塗布

警告



必ず守る

シリコン系シール材の塗布(コーキング)は確実に
水などがキャビネット内に浸入してコンセント
にかかり、火災や感電の原因となります。

※ジョイントコークなどの水溶性のコーキングは使用しないで
ください。

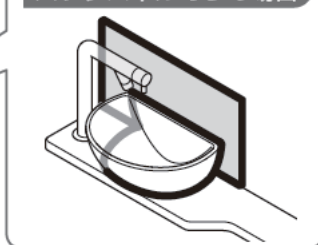
※防カビ性の透明シリコン系シール材(別途手配)

ベッセルタイプ(丸形)

1 シリコン系 シール材



バックパネルありの場合



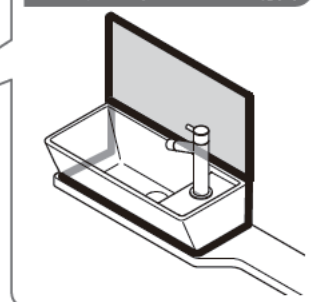
手洗器の背面と
底面の全周

ベッセルタイプ(角形)

1 シリコン系 シール材



バックパネルありの場合



手洗器の背面と
底面の全周

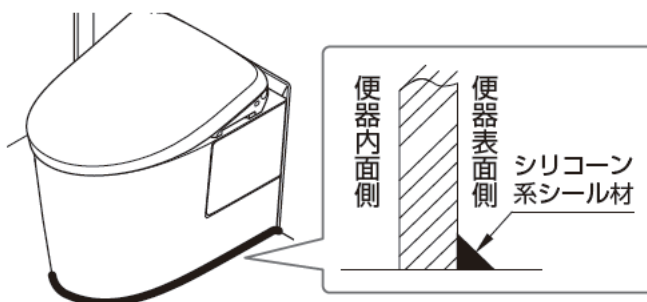
ハイバックタイプ

※手洗器・キャビネット周辺のシリコン系シール材は不要です。

大便器

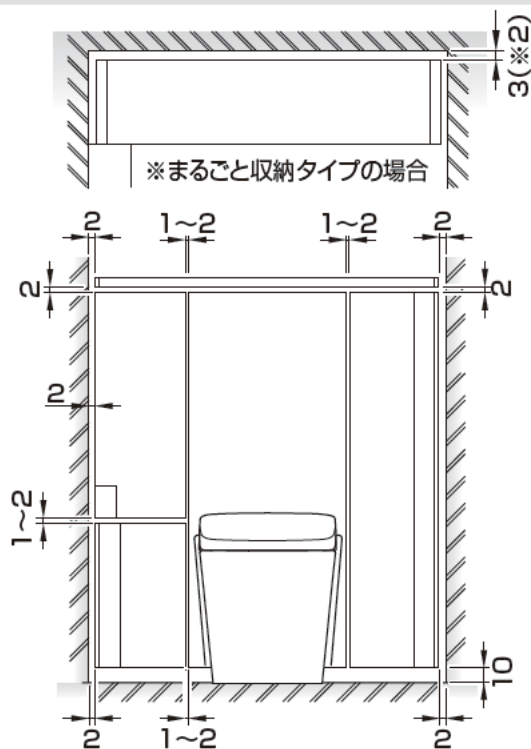
水や小水の浸入を防止するため、便器床接地部周囲に
防カビ性の透明シリコン系シール材を塗布することをお
すすめします。

※防カビ性の透明シリコン系シール材(別途手配)



11 仕上げ状態の確認

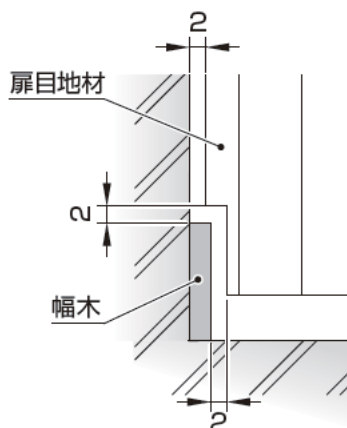
仕上げ状態（目安）



天板と側板組品が当たり2mmにならない場合

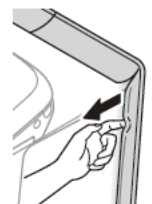


幅木がある場合のみ対応

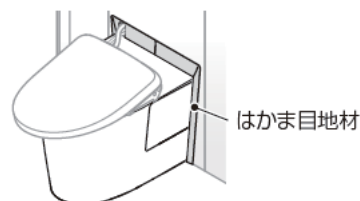


はかま目地材がめくれた場合

- 1 はかま目地材とのすき間に手を入れ、はかま目地材を引き出し、ズレを調整する



- 2 めくれている箇所がないか確認する



MEMO

MEMO

MEMO

